

守りたい 加茂の豊かな自然

守りたい加茂の豊かな自然 編集委員会

守りたい加茂の豊かな自然

目 次

発刊のご挨拶	3
まえがき	7

I. 加茂の自然

1. 大地と大気	
(1) 地形	12
(2) 地質	18
(3) 気象（大気）	25
2. 動植物	
(1) 植物	42
①植生	42
②植物相	51
(2) 哺乳類	83
①哺乳類相	83
②特徴的な哺乳類	84
(3) 鳥類	87
①鳥類相	87
②特徴的な鳥類	89
(4) 爬虫類	95
①爬虫類相	95
②特徴的な爬虫類	96
(5) 両生類	98
①両生類相	98
②特徴的な両生類	99
(6) 魚類	101
①魚類相	101
②特徴的な魚類	103
(7) 昆虫類	107
①昆虫類相	107
②特徴的な昆虫類	108
(8) 十脚甲殻類	156
①十脚甲殻類相	156
②特徴的な十脚甲殻類	157
(9) 淡水貝類	158

Ⅱ. 貴重な地形・地質

1. 特徴的な地形・地質	162
(1) 地形	162
(2) 地質	167
2. 保護・保存する地形・地質	171
(1) 地形	171
(2) 地質	173

Ⅲ. 貴重な動植物種

1. 総論	180
(1) 貴重な動植物種の選定方法	180
(2) 選定結果概要	183
2. 各論	184
(1) 植物	184
(2) 哺乳類	219
(3) 鳥類	222
(4) 爬虫類	228
(5) 両生類	230
(6) 魚類	234
(7) 昆虫類	242
(8) 十脚甲殻類	256
(9) 淡水貝類	257

Ⅳ. 外来種

1. 総論	260
(1) 外来種の定義とリストの目的	260
(2) 加茂地区の外来種の概要	263
2. 各論	264
(1) 植物	264
(2) 哺乳類	290
(3) 鳥類	293
(4) 爬虫類	295
(5) 両生類	297
(6) 魚類	298
(7) 昆虫類	303
(8) 十脚甲殻類	316
(9) 淡水貝類	317

執筆者・協力者	319
---------------	-----

あとがき	321
------------	-----



I . 加茂の自然



2. 動植物

(1) 植物

①植生

●加茂地域の植生概要

岐阜県南部の中央に位置する加茂地域には木曽川とその支流飛騨川が流れ、河川沿いに形成された河岸段丘に市街地が形成されている。白川町、東白川村、八百津町にかけては山頂の比較的そろった標高700mから1,000mの山々が連なっている。加茂地区では尾城山（1,133m）が最高所である。また、標高700mから800mのなだらかな斜面が点在し、東北東から西南西方向に標高が低くなっている。

木曽川中流域には久田見高原、瑞浪高原、飯地高原と呼ばれる標高500m前後の高原が広がり、これらを東濃準平原と呼ぶ。この準平原の一部には、かつてそこに流れていた河川が運搬した堆積物の土岐砂礫層が堆積している。八百津町久田見・白川町田代・美濃加茂市前平などの緩やかな地形面には、土岐砂礫層が分布する。この準平原上の砂礫層に形成された湿地やその周りにシデコブシ、ハナノキ、ヘビノボラズなどに代表される東海丘陵要素植物群が出現する。

七宗町、川辺町、坂祝町にはチャートの急峻な山並みが見られ、木曽川や飛騨川沿いに険しいチャートの溪谷を形成している。絶えず流水にさらされる岩上には流れに適応した植物群が見られ、特徴ある景観を呈している。

加茂地区の降水量は7月に最も多くなり12月に少ない傾向を示している。積雪はほとんど無く、植物相で見れば太平洋側気候域に属し日本海気候域ではない。ブナ林の植生もブナ・スズダケ・カブナ・ミヤコザサの群落で、太平洋側のブナ林である。また、木曽川や飛騨川など河川の豊かな水は常緑広葉樹の北上を促しツブラジイが七宗町あたりまで分布を広げている。随伴するように、リンボク、タブノキ、カラタチバナ、ムベなども見られる。

それらの要素に加えこの地域は、薪炭や用材のための伐採で、自然植生はヒノキの植林地へと変化している。

図1は各市町村からの回答をまとめた植林地等のグラフである。

グラフからも明らかなように、植林地は白川町、東白川村、八百津町、七宗町に集中している。特に白川町の植林地面積は、岐阜県の中でも多い部類に属する。東濃準平原と呼ばれる500m～1,000mにかけては良質の東濃ヒノキを産出している。それに対し、坂祝町、美濃加茂市、富加町、川辺町は山林が少なく、河岸段丘に開けた土地が多くを占め、畑や、市街地が広がっている。

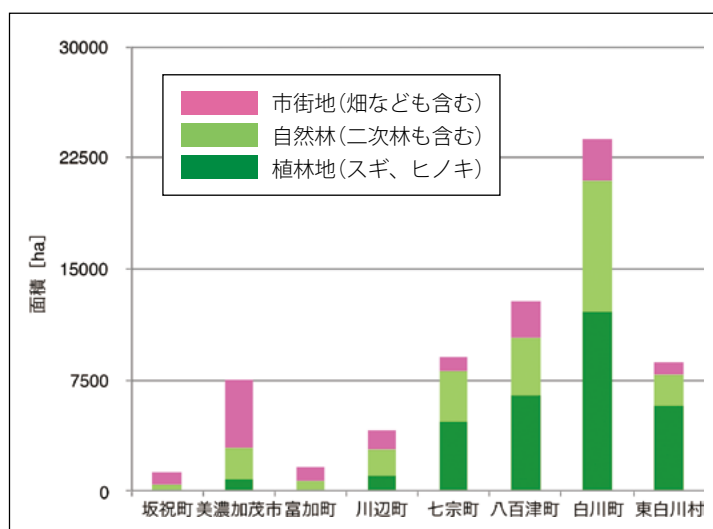


図1 市町村別総面積と森林面積

白川町や東白川村ではお茶の生産が盛んである。茶畑の面積は白川町で72ha、東白川村で61haである。特に東白川村では畑の総面積の45%を茶畑が占めている。

加茂地区の植生帯は大きく2つに分かれる。(図3参照) ひとつは、①暖温帯の常緑広葉樹林(シイ・ヤブツバキクラス域)。もうひとつは、②冷温帯の落葉広葉樹林(ブナクラス域)である。

①のシイ・ヤブツバキクラス域はカシ林上部に位置するモミツガ林の生育域、標高800m付近で②のブナクラス域に移行する。加茂地域のブナクラス域は白川町、東白川村、八百津町北部で見られる。

加茂地区の植生の多くは人の手によって変化している。自然林と言っても多くが代償植生の二次林である。白川町の標高700m付近の自然林でも、かつて炭焼をした痕跡があり、ミズナラやツガの二次林となっていた。ツブラジイ林もコナラ、アベマキ林に置き換わり、繰り返し伐採されてきたものと思われる。残存

している自然植生は社寺林として残されているツブラジイ林が大部分を占めている。坂祝町や美濃加茂市などのチャートの急峻な尾根にはマツ林が優占している。七宗町、八百津町の準平原上にもアカマツ林が多く、マツタケ産地となっている。

自然状態で残されてきた植生として湿地がある。坂祝町や富加町で見られる湿地はオオミズゴケがあまり繁茂していないが、白川町、東白川村、八百津町で見られる湿地は寒冷な気候の影響を受けオオミズゴケが繁茂し、レンゲツツジが侵入している。しかし、これらの湿地は、開発等で急速に失われつつあり、危機的な状況にある。

河川植生の特徴として、ヤナギ群落やツルヨシ群落以外に、坂祝町や美濃加茂市の木曾川河川敷では外来草本群落が広がっている。定期的に草刈りがされる堤防法面や整備された河川敷にはシナダレスズメガヤ、タチスズメノヒエ、シマスズメノヒエなどの群落が目立つ。

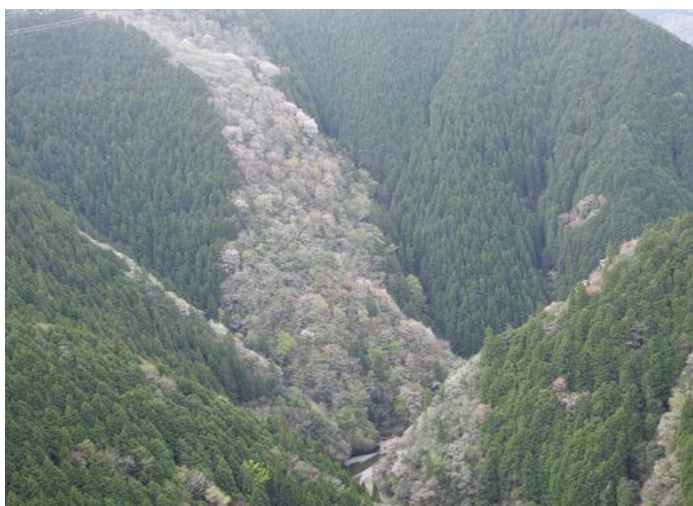


図2 植林された山林と谷筋に残された二次林(八百津町内)

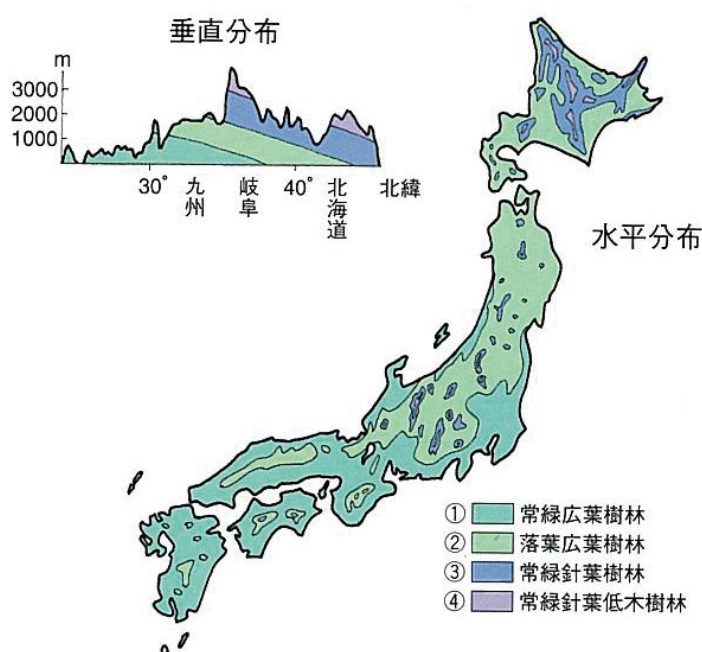


図3 日本の植生[宮脇(1977)を作図]

●加茂地域に現存する特徴的な植生

(a) 森林植生

常緑広葉樹林

広葉樹林は暖温帯に分布する植生である。植生分類上ではヤブツバキクラス域と呼ばれている植生帯に成立している。加茂地域では木曽川や飛騨川などの河川の影響で河川沿いに温暖な地域が北上し、常緑広葉樹林は標高700～800m付近まで見ることができる。現存する植生として、ヤブツバキクラス域下部にシイ林が、上部にカシ林が主に成立している。(沼田・岩瀬, 1975)

シイ林は加茂地域が内陸部にあることからスダジイ林は無く、ツブラジイ林が分布し、七宗町本郷付近(標高145m付近)まで見られる。また、カシ林は標高がシイ林よりも高い位置に分布し、アラカシ、シラカシ、ツクバネガシが優占する樹林が主に見られる。

i) ツブラジイ林

高木層にツブラジイが優占している自然林である。亜高木層、低木層には常緑広葉樹のタブノキ、ヒサカキ、アラカシ、サカキ、アセビのほか、落葉広葉樹のアオハダもわずかに混生している。林床が暗いことから、草本層はほとんど見られず、シダ植物のベニシダや常緑低木のマンリョウなどが生育している。

加茂地域に現存しているシイ林は少なく、主に、社寺林として残されてきたものである。

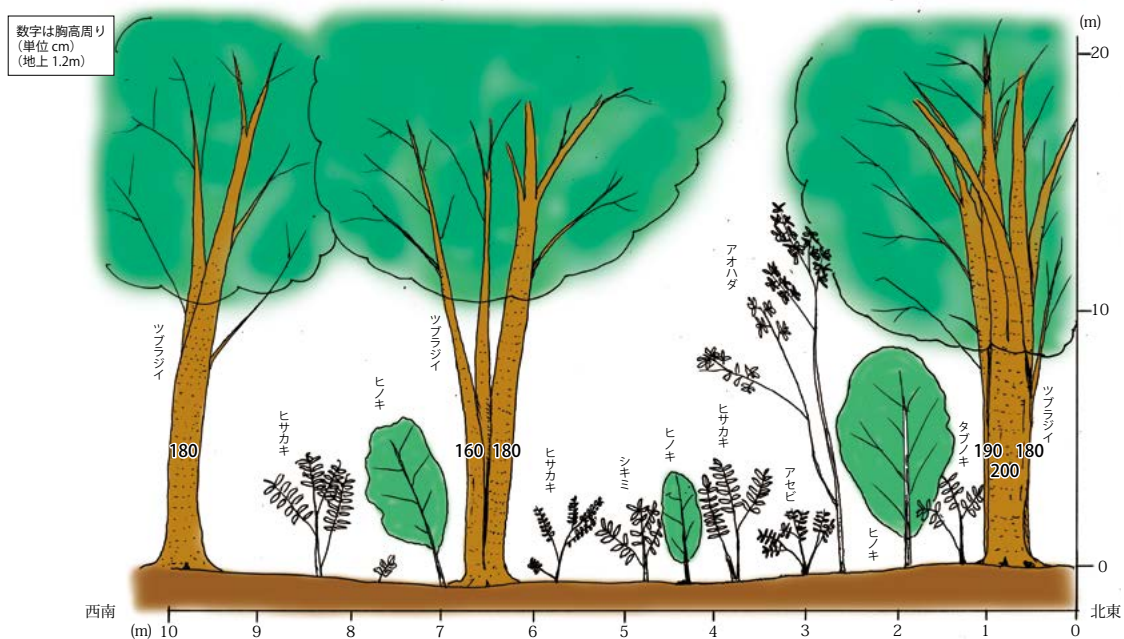


図4 ツブラジイ林 植生断面図 (七宗町本郷 標高145m 2018.10.30)



図5 七宗町本郷のツブラジイ林

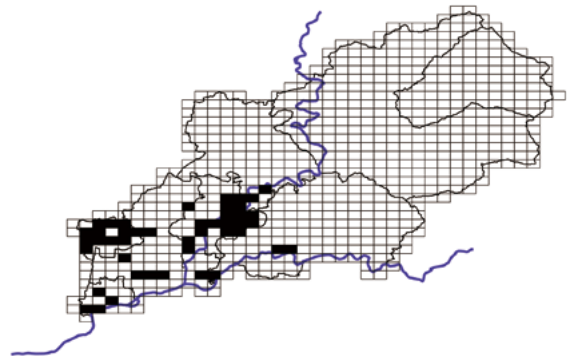


図6 ツブラジイの分布

ii)ミズナラ林

高木層にミズナラが優占している二次林である。高木層はミズナラの他にコナラ、ウワミズザクラ、コハウチワカエデや常緑針葉樹のモミ、ツガが混生している。加茂地域では標高800～1,000m付近で成立する群落であるが、多くがヒノキ植林となっていることから、分布は限定的である。

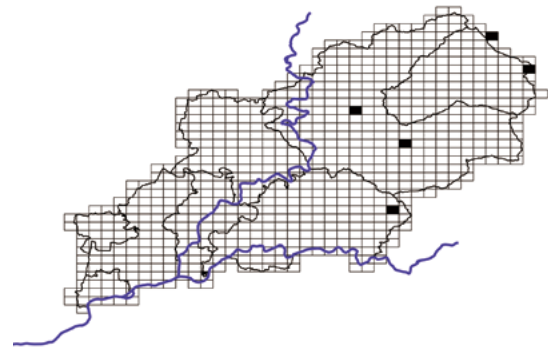


図10 ミズナラの分布(記録のある場所)

iii)コナラ林

高木層にコナラが優占している二次林である。標高の低い地域では常緑広葉樹林のツブラジイ林の代償植生として成立している。高木層はコナラの他にアベマキ、クリ、イヌシデ、アオハダが混生して、亜高木層、低木層にはアラカシ、ヤブツバキ、ヒサカキ、アオキ、アセビといった常緑広葉樹が主に生育している。標高の高い地域ではカシ林の代償植生として成立し、高木層にはコナラが優占している。亜高木層、低木層には落葉広葉樹のリョウブ、ウリハダカエデ、コシアブラ、エゴノキ、ホオノキ、カスミザクラ、コハウチワカエデなどが生育している。

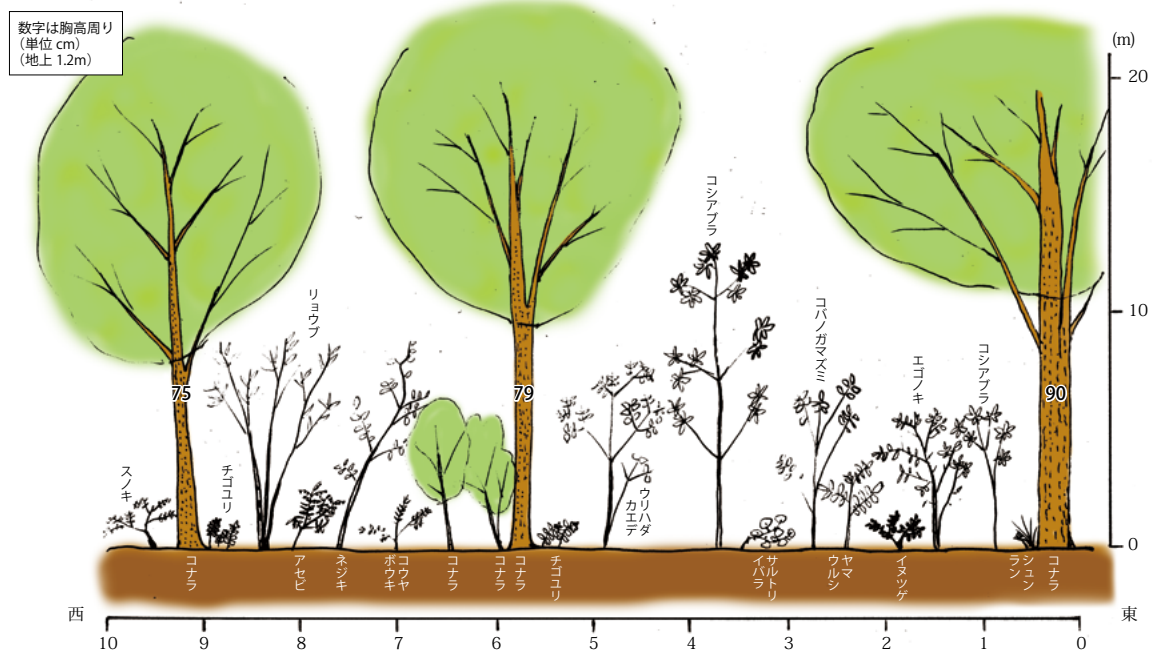


図11 コナラ林 植生断面図 (白川町赤河 標高500m 2018.4.27)

近年、カシノナガキクイムシによるナラ枯れが問題となっている。加茂地域でも里山の放置により50年以上を経過したコナラ林が被害にあっている。定期的な伐採などの管理によって維持されてきたコナラ林の推移を見守る必要がある。



図12 白川町のコナラ林

常緑針葉樹林

常緑針葉樹林はヒノキの植林に適さないチャートなどで形成された山塊の上部や尾根にアカマツ林が広く分布し、ヤブツバキクラス域上部からブナクラス域下部にあたる標高 700 ～ 800m 付近の谷筋などにモミーツガ林が小面積で点在している。また、広域でヒノキが植栽されている。

i) アカマツ林

高木層にアカマツが優占している二次林である。亜高木層、低木層には常緑針葉樹のネズミサシや落葉広葉樹のコナラ、ネジキ、モチツツジ、常緑広葉樹のソヨゴなどが生育している。草本層はコシダが繁茂している場所が多くなっている。

加茂地域では美濃加茂市山之上富士山をはじめ、七宗町、八百津町などのヒノキ植林に適さない尾根などに分布し、これらの地域はマツタケの産地となっている。



図13 坂祝町のアカマツ林

ii) モミーツガ林

高木層にモミ、ツガが優占している樹林である。白川町、東白川村の標高 700m 付近の谷筋に見られる。コハウチワカエデ、コミネカエデ、イヌツゲ、ミズナラ、コナラ、サワフタギなどが亜高木層から低木層に見られる。



図14 ヒノキ植林 植生断面図 (東白川村越原 標高730m 2018.11.10)

iii) スギ・ヒノキ植林

高木層にヒノキが優占している植林である。亜高木層、低木層は林床管理されている林分では殆ど植物は生育しておらず、シロモジ、ネジキ、バイカツツジ、ミズナラなどが低木層にわずかに見られる程度である。林床はヤブツバキクラス域ではウラジロが生育しており、標高の高い地域ではミヤコザサが繁茂している林分が多く見られる。加茂地域では東農ヒノキの産地として全域に広く分布している。



図15 東白川村のヒノキ植林地

(b) 草本植生

湿地の植生

加茂地域では酸性の痩せた土壤に湧水が見られる場所に湿地が点在しており、群落高が 1 ～ 2 m 程度でオオミズゴケの繁茂する中間湿地やシデコブシ、ハナノキといった湿地生の木本が優占する群落もみられ、いずれの群落においても東海丘陵要素の植物が多く生育している。

i) ヘビノボラズーレンゲツツジ群落

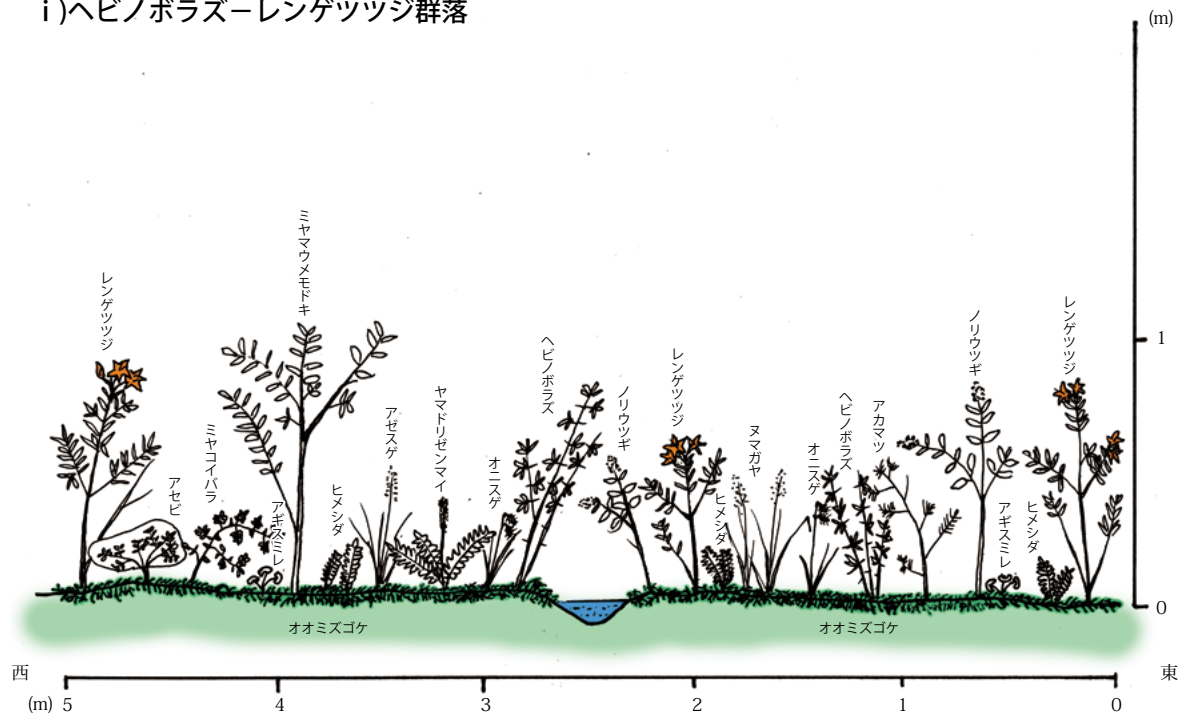


図16 レンゲツツジーヘビノボラズ群落 植生断面図(八百津町福地 標高600m 2018.8.26)

八百津町福地から白川町黒川にかけて、標高が 500 ～ 600m 付近の比較的標高の高い地域には、コケ類のオオミズゴケが繁茂している湿地が分布している。低木層にはノリウツギ、レンゲツツジ、ミヤマウメモドキなどが生育しており、下層にはオオミズゴケが繁茂しているほか、ヘビノボラズ、ヌマガヤ、オニスゲ、ヒメシダなどの好湿性の低木や草本が生育している。



図17 八百津町の湿地

ii) シデコブシ群落

坂祝町から富加町ではオオミズゴケのあまり発達していない、亜高木、低木が優占する湿地が分布している。土岐砂礫層上に湿地が形成され、シデコブシ、ヘビノボラズ、サクラバハノキといった東海丘陵要素の植物が多く生育している。これらの湿地は、開発のため埋め立てられ、減少している。また、湿地の林床が暗くなっていることから、シデコブシの実生が十分に生育できず、世代交代も難しい状況にあり、何らかの対策が必要である。

iii) ハナノキ群落

八百津町から白川町、東白川村にかけてハナノキが分布している。東白川村越原の標高 700m 付近ではハナノキの優占する群落が分布しており、ハナノキの分布北限として、大正 11 年に国の天然記念物に指定されている。群落内にはハナノキが 30 株以上生育しており、実生個体も多く見られる。亜高木層、低木層にはアカマツ、タカノツメ、ネジキ、イヌツゲ、ツガなどが生育しているほか、東海丘陵要素の植物であるヘビノボラズも見られる。草本層はコケ類のオオミズゴケが生育しているほか、サワギキョウ、カキラン、コバギボウシなどの好湿性の草本がみられた。また、ミズバショウも生育していたが 1 株しか確認されず、過去にも記録がないことから人為的に持ち込まれた可能性が高い。



図18 越原のハナノキ自生地
(東白川村 提供)

河川植生

白川町から七宗町の飛騨川には飛水峡と呼ばれる岩石段丘が見られる。その岩上には溪流性の植物が生育する特殊な自然植生が成立している。また、木曽川の河川敷などにはヤナギ林が分布しているほか、外来草本が侵入し、優占する群落も見られる。

i) サツキ群落

サツキが優占する溪流辺植生である。5～6月、朱赤色の花を一面に咲かせる景観は見事である。頻繁に冠水するような場所に成立しており、サツキは樹高が低く匍匐した樹形となっている。草本層はナメライモンジソウ、イワギボウシ、ケイリュウタチツボスミレなどが生育している。急傾斜地に成立し、人が近寄ることが出来ないことから、乱獲されず自然景観が保たれている。



図19 サツキ群落

加茂地域では飛騨川沿い(飛水峡)に広く見られるほか、木曽川のチャートの岩場にも成立している。

ii) キハギーキイトラッキョウ群落

キハギ、キイトラッキョウが優占する溪流辺植生である。これらの植物のほか、アオヤギバナ、ススキ、トダシバナなどが生育している。折り重なるように褶曲したチャートの隙間に根を伸ばしている。

加茂地域では飛騨川の白川町から川辺町にかけてと木曽川の坂祝町に分布している。

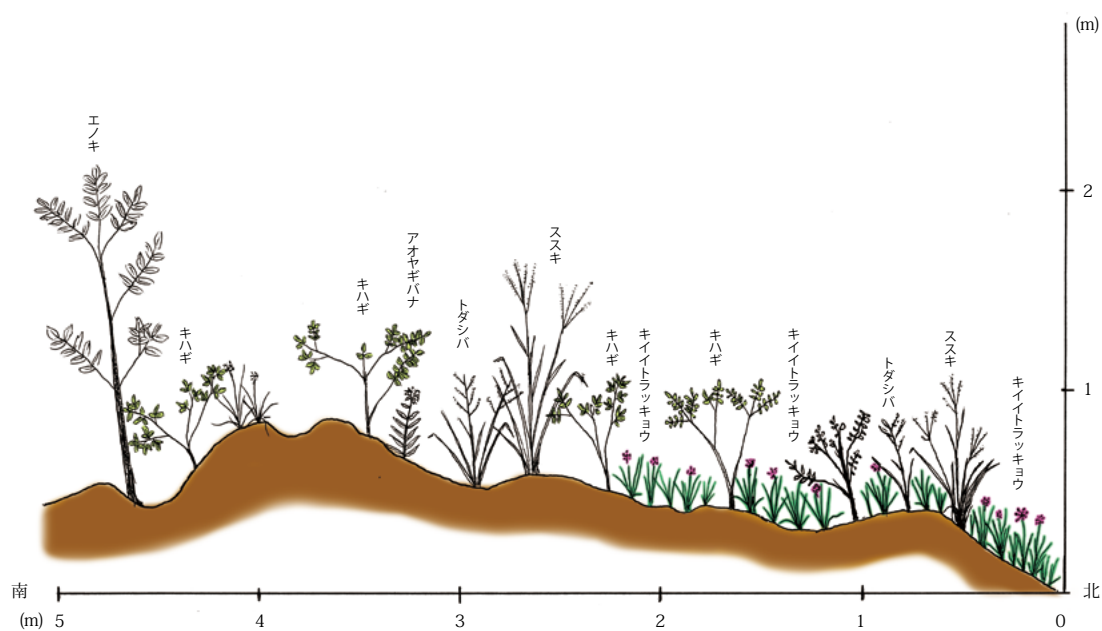


図20 キハギー キイトラッキョウ群落 植生断面図(坂祝町勝山 標高64m 2018.10.12)



図21 キイトラッキョウの生育する岩場



図22 ヤナギ林

iii)ヤナギ林

ヤナギ科の本木が優占する樹林である。カワヤナギ、マルバヤナギ、イヌコリヤナギ、コゴメヤナギ、タチヤナギなどのヤナギ類が単独で優占するか、もしくは混生している。

加茂地域では美濃加茂市から坂祝町の本曾川河川敷に主に分布している。

iv)外来草本群落

シナダレスズメガヤ、タチスズメノヒエ、シマスズメノヒエといった外来の草本が優占する群落である。普段は市民の憩いの場所になっているような場所では定期的に草刈りが施されており、ここに外来のイネ科草本類が侵入し、群落を形成している。加茂地域では美濃加茂市の本曾川河川敷に分布し、拡大している。



図23 シマスズメノヒエ群落

その他

i)果樹、茶畑

果樹栽培の比較的多い美濃加茂市では、ナシやカキを中心に 87ha の栽培面積を有している。この値は美濃加茂市の畑の 18%にあたる。

白川茶として売り出しているチャの栽培面積は東白川村や白川町が最も多く、両地区だけでも 133ha に及ぶ。



図24 東白川村のお茶畑

②植物相

文献・美濃加茂市民ミュージアム所蔵標本・個人所蔵標本及び2015年から2018年度に実施した現地調査から、美濃加茂市と加茂郡7町村で確認された植物（維管束植物）は表1－1の通り177科1654種（雑種も含む）になる。今回の調査で全区域をくまなく調査できたとは思えず、白川北部、東白川、八百津北部などまだ立ち入ったこともない地域も多い。調査の現状から考えると、加茂地区の植物相はかなり豊かであると考えられる。

表1－1 加茂地区の維管束植物種数

シダ植物	26科	208種
種子植物	151科	1446種
合 計	177科	1654種

岐阜県は、暖温帯から冷温帯まで南北につながる日本列島の中央に位置し、加茂地区はそのほぼ南端に位置している。南に標高60mの平野部から北には1,200mの山々が位置し、多様な自然環境に恵まれている。地区内には木曽川と飛騨川が流れ、多くの支流が大小の谷や溪谷を形成している。川の水は湿潤な環境を生み、その恵まれた自然の中でイワナンテン、イワギボウシ、イワタバコ、ナメラダイモンジソウ、バイカオウレン等の種子植物やコケシノブの仲間などが生育している。また、伊勢湾から暖流による暖かい風が木曽川、飛騨川を伝わって加茂地区に流れ込むことにより暖帯性植物の北上を促し、ツブラジイ林が七宗町まで見られ、それに伴って、キジョラン、イタビカズラ、タブノキ、ムベ、リンボク、オオバノハチジョウシダなどの北限となっている。また美濃加茂市に生育するオワセベニシダと七宗町のヒロハナライシダは日本の北限でもあり東限でもある。本来は標高の高い地域に生育する冷温帯植物も多く見られる。ブナ、ミズナラを加茂郡北部の標高800mから1,000m付近で見ることが出来る。北方系の、コケシノブ、ヤマソテツ、コタニワタリ、シノブカグマ等のシダ植物も各地で確認され、岐阜県の南限となっている。



図25 オオバノハチジョウシダ



図26 コタニワタリ



図27 ベニシダ

加茂地区は東海丘陵要素植物群と呼ばれる植物の北限地でもある。シデコブシ、サクラバハシノキ、ヘビノボラズ、ミカワバイケイソウなども生育し、湿地周辺にはハナノキも確認されている。加茂地区のハナノキは岐阜県の北限となっている。また生育地が限定されているマルバノキが湿潤な谷沿いに多く見られ、地域の植物相を特徴づけている。

地質も植物にとって重要な生育条件である。チャートの岩場は日本有数のベニシダの産地として知られ、凝灰質岩にはアルカリ性を好むイワオモダカなど希少な種が見られる。河川沿いの岩場には、チャートの層の隙間に根を下ろしたサツキやキイトラッキョウ、センボンギク、ドロニガナなどの溪流に適応した植物が生育している。



図28 イワナンテン



図29 バイカオウレン



図30 マルバノキ

●特徴的なシダ植物

市街地のシダ

シダ植物は湿潤な環境を好み、空中湿度の高い環境では旺盛な繁殖を繰り返し種数・個体数とも多くなることが知られている。その点、市街地はコンクリートやアスファルトに囲まれて乾燥しておりシダの生育する環境とは程遠い場所である。しかし、この乾燥した市街地でもシダの見られる場所がある。古い石垣の隙間にはイノモトソウが生育し、生垣に絡みつくようにつる性のシダであるカニクサを見ることができる。旧家の北側にあるやや湿った裏庭にはイヌワラビ、シケシダがドクダミなどに混じって生育し、置石や植木の幹にはノキシノブが着生している。たとえ市街地であっても雨水や排水の浸透する場所はシダの好む環境である。

里山のシダ

人と生き物が共に生きる場所が里山である。里山には人の生活を支える自然環境が存在する。集落の周囲には田畑が広がり、水田を潤す溜め池や小川が流れる。近くの丘陵には薪や炭の材料となる落葉樹林に、農機具材料となるシイやカシの林がある。尾根のアカマツ林、斜面のヒノキと谷筋のスギ林は家の梁や柱の材料。竹林はザル、カゴの材料や土壁の骨組みに必要不可欠で、タケノコは食用にもなる。それらさまざまな環境に動植物がかかわって里山の生活が成り立っている。

水田には水性シダのデンジソウ、ヒメミズワラビが生育するが、それらは雑草駆除の対象となる。かつてどこにでも見られたデンジソウは農薬によって加茂地区では絶滅し、岐阜県では絶滅危惧Ⅰ類、全国でも絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。最近では農薬の使用が減少しヒメミズワラビをあちこちの水田で見かけることができる。水田周辺の水路や畔は強い日の光にさらされ一見シダの生育に適した環境ではないように見えるが、シケシダ、スギナ、コウヤワラビ等地下茎で増えるシダが群生している。一方で畑は野菜類のために整備された環境で、水田ほど湿潤ではなく比較的乾燥しているためシダを見かけることはほとんどない。



図31 ヒメミズワラビ



図32 スギナ



図33 コウヤワラビ

集落に接する河川敷や丘陵林縁部には、クサソテツ（コゴミ）、ワラビ、ゼンマイといった山菜類が群生し、手入れされた竹林や丘陵斜面にはフモトシダ、コバノイシカグマ、トウゲシバ、シシガシラ、ハリガネワラビ、ヤワラシダ、シケチシダ、キジノオシダなど数多くのシダが生育している。乾燥している丘陵斜面上部にもシダを見ることができる。地下茎を網の目のように絡ませコシダ、ウラジロが人の立ち入りを拒むかのように大きな群落を形成している。



図34 ワラビ



図35 キジノオシダ



図36 コシダ

山地のシダ

集落から離れ幾筋もの溪谷と岩場とによって形成された加茂地区の山地は、コナラを主とした落葉広葉樹林とスギ・ヒノキ植林地から成り立っている。林床にはベニシダ類、イノデ類、イタチシダ類、リョウメンシダ、などが生育し、林道沿いの開放された明るい斜面には南方系のウスバミヤマノコギリシダや、温暖化の影響で近年増えてきているオオフジシダを見ることがある。また地域によっては、北方系のオシャグジデンダ、フクロシダに出会うこともある。



図37 オオフジシダ



図38 ウスバミヤマノコギリシダ



図39 オシャグジデンダ

河川・溪流沿いのシダ

木曽川と飛騨川の両岸は切り立った崖が上流まで続き、ほとんど人の立ち入りができないことから貴重な植物が手付かずのまま残っている。シダ植物にとって、潤沢な水と下流からの暖かい風は時に水没こそすれ何物にも代えがたい生育環境である。水辺から切り立った崖には、岐阜県では南濃地方の一部でしか見ることのできないコモチシダが大群落を形成して延々と続き、やはり水辺の環境を好むイブキシダも見ることがないような大型の姿を見せひしめき合っている。

シダの研究者にとって絶好の学習の場は上流のチャートの岩場にある。水際の水のかぶる場所には、溪流に適応したサツキのように葉を細くしたヤシャゼンマイが生育し、まったく水のかぶらない最上部には太い葉のゼンマイがあり、その中間には両者の自然交雑種であるオオバヤシャゼンマイが中間的な葉を広げている。ここでは、絶滅危惧種のイワヒバや、人為採取のためめっきり少なくなったシノブも見ることができる。

木曽川と飛騨川には数多くの溪流が流れ込んでいるが、そのような環境こそシダにとって絶好の生育地である。湿潤な岩場にはコウヤコケシノブ、ホソバコケシノブ、オオコケシノブが群生し、

水の滴るような場所にはコハイホラゴケが生育している。それほど湿潤な環境でなくても岩場に生育するシダは多い。絶滅危惧種のトキワシダ、オクタマシダ、イヌチャセンシダ、ハコネシダもこのような崖地で見つかる。

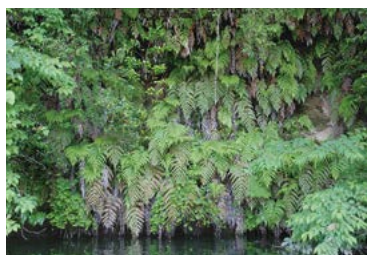


図40 コモチシダ



図41 イブキシダ



図42 シノブ



図43 ヤシャゼンマイ



図44 コハイホラゴケ

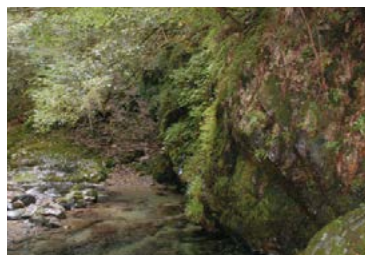


図45 溪谷のシダ

岩場のシダ

加茂地区には、大きく分けてチャートによって形成された岩場と、凝灰質岩によって形成された岩場とがある。シダ植物は、地質により生育する種が異なることがありそのためそれぞれの岩場によりシダ植物相に特徴が現れる。

チャートの岩場の上部にはヒトツバが群生し、壁面をオサシダ、マメツタが覆い、ヌリトラノオ、シモツケヌリトラノオが岩場から地面へと葉を伸ばし生育する。ベニシダ類のサイゴクベニシダ、アツギノヌカイタチシダマガイ、イタチシダ類、絶滅危惧種のナチクジャク、オワセベニシダもこのような場所で見つかる。

凝灰質岩の岩場には、石灰岩などアルカリ性の土壌を好む絶滅危惧種のイワオモダカ、アオネカズラやイワトラノオ、ヒメカナワラビなどが生育する。凝灰質岩は長期間雨が降らず極端に乾燥した時でも一定の水分を含んでいるのか、壁面を覆う絶滅危惧種のビロードシダなども枯死することはない。

岩場に生育するシダは、盆栽好みの山野草愛好家の採集対象になる種が多く十分な保護が必要である。

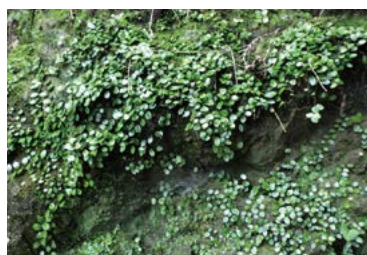


図46 マメツタ



図47 ヌリトラノオ



図48 ヒメカナワラビ

●特徴的な種子植物

市街地の植物

造成された空き地やコンクリートに囲まれた市街地は乾燥化に耐え生育する植物が多い。かつてはセイタカアワダチソウ、キダチコンギク、オオオナモミ等がよく見かけられたが、最近は減少傾向にある。オオアレチノギク、コセンダングサ、マルババルコウ、メリケンカルカヤが生育し、よく除草される庭や道路脇にはクルマバザクロソウ、コニシキソウ、マツバウンランが多く見られる。道路沿いのアスファルトの隙間にはスマレやヒメスマレ、シナダレスズメガヤ、エノコログサ（ムラサキエノコロ）が見られ、ヒメブタナも最近になって、よく見かけるようになった。道路の隙間に入り込むようにニワウルシが目立つようになってきた。ニワウルシはもともと公園などに植栽された樹木だが、種子が風に飛ばされて拡散し、道路沿いや鉄道沿いに白川町まで生育分布を広げている。センダンも同じように道路脇の隙間に根を下ろし分布を広げているが、ニワウルシほどではない。



図49 スマレ



図50 クルマバザクロソウ



図51 ニワウルシ

田畑の植物

在来の水田雑草に置き換わるように、アメリカアゼナ、ヒレタゴボウが多くなった。ヒレタゴボウの繁茂は著しく、田の側溝まで広がっている。春は在来の植物が多いが夏から秋にかけては帰化植物が目立つ。一時ミズマツバが絶滅危惧対象になっていたが、各地でよく見かけるようになった。特に山間部の水田に多い。またシダ植物のヒメミズワラビもよく見かけるようになった。畦には、アメリカセンダングサ、コセンダングサに混じって、アレチヌスビトハギ、タチスズメノヒエ、シマスズメノヒエなどが目立つが、加茂郡北部の山間地では少なくなる。

加茂郡北部で目立つのは、フランスギク、オオキンケイギクで、花が美しいために切り花や観賞用に意図的に残している可能性も否定できない。



図52 ヒレタゴボウ



図53 ブタナ



図54 ミズマツバ

里山の植物

照葉樹林帯に近い加茂郡南部地域のコナラ、アベマキの二次林には、人家近くに植えられてきたマダケなどの竹林が侵入し繁茂している。その一方で近年、行政、地域有志などの呼びかけで、里山整備が進められるようになってきた。その結果、ジュウニヒトエ、イカリソウ、ヤマユリ、キンラン、

2. 動植物

ササユリなどが復活してきた。比較的竹林の少ない白川、東白川、八百津の林縁にはコオニユリ、マツムシソウ、キキョウ、オミナエシが見られるが個体数は激減している。ヤマユリの分布については生育環境から考え、自然分布であり、加茂地区が県内分布境界の北限と思われる。



図55 キンラン



図56 ヤマユリ



図57 マツムシソウ

山地の植物

植生(図6)で示したようにツブラジイが飛騨川を北上し七宗まで分布している。これに伴って、七宗町から白川町付近を北限とする植物が多く見られる。タブノキ、フユザンショウ、シャシャンボ、キジョラン、ヤブニッケイ、ムベ、イタビカズラ、リンボクなどの植物が挙げられる。



図58 キジョラン



図59 リンボク



図60 タブノキ

白川町、東白川村、八百津町、七宗町では標高 900m付近でミズナラが出現し、白川町では1,000m付近でブナが確認できた。かつてはブナ林が広範囲にあったと思われるが、伐採されヒノキの植林地に置き換わっている。ミズナラに混じってクマシデ、イヌブナ、シロモジ、イタヤカエデ、コミネカエデ、コハウチワカエデ、オオウラジロノキ、オオカメノキなどが生育している。



図61 コミネカエデ

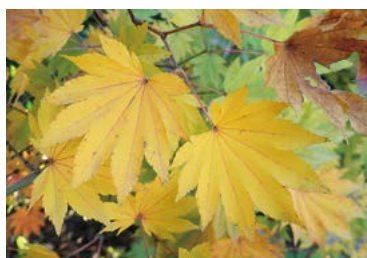


図62 コハウチワカエデ



図63 ミズナラ

河川の植物

美濃加茂市や坂祝町の本曽川沿いに堤防が築かれ、法面には帰化植物の侵入が著しい。オオキンケイギク、コバンソウ、メリケンカルカヤ、キダチコンギクなどが多く見られる。2000 年頃からヤセウツボ、ヒサウチソウが見られるようになり分布を拡大している。シナダレスズメガヤ、タチスズメノヒエ、アレチハナガサも群落を形成し、セイヨウアブラナ、カラシナ、ハルザキヤマガラシ、オオブタクサが少し肥沃な砂泥地に多く見られる。オランダガラシやメリケンガヤツリも水辺でよく見ることが出来る。

河原にはツルヨシが繁茂し、カワヤナギ、ネコヤナギ、イヌコリヤナギなどヤナギの仲間が群落を形成している。砂や玉石が常に堆積している河原は少なくなり、カワラナデシコ、カワラハハコなどは見られなくなった。



図64 カワラハハコ



図65 ヒサウチソウ

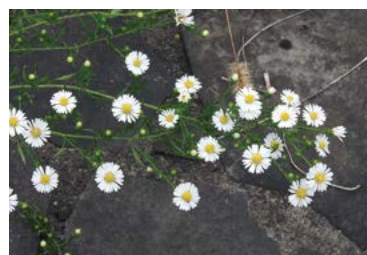


図66 キダチコンギク

溪流植物群

定期的に冠水するチャートの岩場には、流れに適応した形態を有する植物が生き残っている。その代表がサツキ（イワツツジ・サツキツツジ）で、岩の隙間にへばりつくように根を下ろしている。葉が細く草丈の低いセンボンギク、アオヤギバナ、キイトラッキョウなどと共に、ケイリュウタチツボスミレ、ナメライモンジソウも切り立った岩場に生育している。岩のくぼみの水たまりにはミミカキグサ、ホザキノミミカキグサも見られる。



図67 サツキ



図68 キイトラッキョウ



図69 ミミカキグサ

湿地やため池の植物

加茂地区の湿地は東海丘陵要素植物（植田，1989）を有し、伊勢湾周辺部の湿地と共通している種が見られる。しかしその規模は小さく、開発等により消滅の危機にある。東海丘陵要素植物としてクロミノニシゴリ、ヘビノボラズ、シデコブシ、サクラバハノキ、ハナノキ、トウカイコモウセンゴケ、ミカワバイケイソウなどが生育している。湿地の周辺部にはサギソウ、サワギキョウ、カキラン、キセルアザミ、サワヒヨドリ、ハルリンドウ、ウメバチソウ、シラヒゲソウなどを見ることはできる。標高が 600m 程の八百津町や白川町の湿地では、レンゲツツジ、ミヤマウメドクキなども見られるようになる。

八百津町や美濃加茂市、富加町、坂祝町には農業用の溜池が多い。山裾の溜池には、ヒシ、ヒメビシ、イヌタヌキモ、シズイ、ジュンサイ、ホソバミズヒキモ、フトヒルムシロなどが見られるが、多くの池は改修されたり埋め立てられたりして、植物相も大きく変化している。



図70 ヘビノボラス



図71 レンゲツツジ

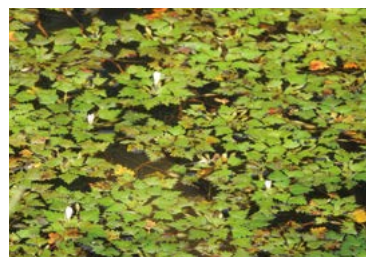


図72 ヒメビシ

ハナノキとシデコブシの分布について

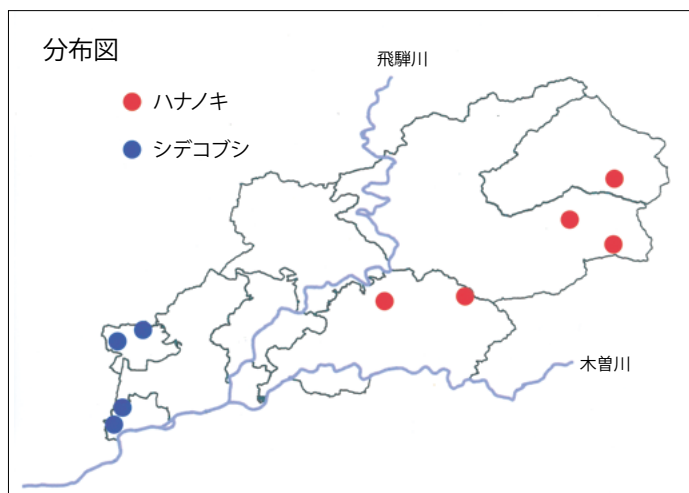


図73 ハナノキの分布とシデコブシの分布



図74 白川町黒川遠見場のハナノキ

八百津町におけるハナノキについては調査がされていなかった。調査の結果より新たな自生地が確認出来た。加茂地区がハナノキの北限地であり、飛騨川から西には生育していない。

ソハヤキ要素植物

襲^その国（九州南部）、速吸瀬戸^{はやすいせと}（豊予海峡）、紀^きの国（和歌山県と三重県南部）に因んだ呼び名で、日本の植物区系（前川，1977）によるソハヤキ要素植物が多く見られる。シロモジ、マルバノキ、コウヤマキ、イワナンテン、ヒカゲツツジ、サツキ、モチツツジ、ササユリ、ケケンポナシなど、フォッサマグナ以西、太平洋側に広く分布している植物である。特にマルバノキ、シロモジは谷筋に多く生育している。



図75 ヒカゲツツジ



図76 モチツツジ

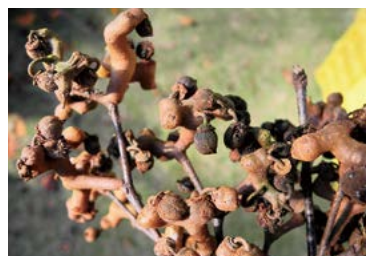


図77 ケケンポナシ

植物種目録 シダ植物

シダ植物 (1/3)

目 名	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
ヒカゲノカズラ目	ヒカゲノカズラ科	トウゲシバ		●	●		●	●	●	○	○	15
		ミズスギ		●		●						4
		マンネンズギ		●			○	●	●	●	●	10
		ヒカゲノカズラ		●	●		●	●	●	●	●	16
イワヒバ目	イワヒバ科	カタヒバ		●	●		●	●	●	○	●	10
		イヌカタヒバ	※	●		●						1
		タチクラマゴケ		●								2
		クラマゴケ		●	●			●	●		●	3
		イワヒバ			●		●	●	○			8
		コンデリクラマゴケ	※	●				●				3
ミズニラ目	ミズニラ科	ミズニラ		●	●							3
トクサ目	トクサ科	スギナ		●	●	●	●	●	●	○	○	10
		トクサ			●							0
		イヌドクサ			●							1
ハナヤスリ目	ハナヤスリ科	オオハナワラビ		●	●			●	○			4
		アカハナワラビ			●				●			1
		ナガホノナツノハナワラビ							●			0
		フユノハナワラビ		●	●	●	●	●	●			12
		ナツノハナワラビ		●								1
		コヒロハハナヤスリ			●							1
ゼンマイ目	ゼンマイ科	ゼンマイ		●	●	●	●	●	●	●	●	18
		ヤシャゼンマイ		●	●		●	●		●	●	6
		オオバヤシャゼンマイ		●			●	●	●	●	●	4
		ヤマドリゼンマイ		●				●	●		●	4
コケシノブ目	コケシノブ科	アオホラゴケ		●				●	●			3
		ウチワゴケ		●	●		○	●	●	○	○	7
		オオコケシノブ						●	●			2
		コウヤコケシノブ		●	●		○	●	●	●	●	17
		ホソバコケシノブ		●	●			●	●	○	●	11
		コケシノブ						●				0
		ハイホラゴケ							●			6
		コハイホラゴケ		●				○	●			5
ウラジロ目	ウラジロ科	コシダ		●	●	●	●	●	●	○	○	14
		ウラジロ		●	●	●	●	●	●	○	○	18
フサシダ目	カニクサ科	カニクサ		●	●	●	●	○	○	○	○	6
サンショウモ目	デンジソウ科	デンジソウ		●								0
	サンショウモ科	アイオオアカウキクサ		●								1
ヘゴ目	キジノオシダ科	タカサゴキジノオ						●				0
		オオキジノオ		●	●	●	○	●	○	○	○	6
		キジノオシダ		●	●	●	●	●	●	○	○	13
		ヤマソテツ		●				●	○			2
		フタツキジノオ		●	●	●		●				3
ウラボシ目	ホンダウシダ科	ホラシノブ		●	●	●	●	●	●			4
	コバノイシカグマ科	イヌシダ		●	●	●	○	●	●	●	●	11
		コバノイシカグマ		●	●	●	○	●	●	○	●	13
		オウレンシダ						○	○	●	○	1
		イワヒメワラビ		●	●	●	○	●	○	●	●	5
		フモトシダ		●	●		○	●	●			10
		フジシダ		●				●	●			3
		オオフジシダ		●				●	○			4
		アイフジシダ						●				1
		ワラビ		●	●	●	●	●	●	●	●	11
	イノモトソウ科	ハコネシダ		●								1
		クジャクシダ							●			0
		ヒメズワラビ		●	●							7
		イワガネゼンマイ		●	●		○	●	○	○	○	4
		イワガネソウ		●	●		●	●	●	○	○	9
		イヌイワガネソウ		●	●				●			3
		シシラン		●	●	●	●	●	●	○	○	8
		ナカミシラン							●			0
		タチシノブ		●	●		●	●	●	○	○	4
		オオバノイノモトソウ		●	●			●	●			9
		イノモトソウ		●	●	●	●	●	●	○	●	8
		オオバノアマクサシダ			●							0
		オオバノハチジョウシダ		●	●			●	●			5
		アイイノモトソウ							●			1
	ナヨシダ科	ウスヒメワラビ		●	●			●	●			6
	チャセンシダ科	コバノヒノキシダ		●	●			●	●			5
		シモツケヌリトラノオ		●	●	●		●	○	○		4
		シモダヌリトラノオ		●		●		●	○			2
		トラノオシダ		●	●	●	●	●	●			5
		ヌリトラノオ		●	●	●		●	○	○		8
		トキワトラノオ							●			0
		オクタマシダ						●				1

2. 動植物

シダ植物 (2/3)

目 名	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
ウラボシ目	チャセンシダ科	コタニワタリ						●				1
		イワトラノオ						●	●			1
		チャセンシダ		●				●	●			1
		イヌチャセンシダ							●			0
		アイトキワトラノオ							●			0
	ヒメシダ科	トキワシダ						●	●			1
		ヒメワラビ		●	●	●	○	●	●	●	●	8
		ミドリヒメワラビ		●	●	●	●	○	●	○	○	7
		ゲシゲシシダ		●	●		●	●	●	●	●	12
		ホシダ		●	●		●	○	○			6
		コハシゴシダ						○	○	●		3
		イブキシダ		●	●		●	●	●			1
		ハシゴシダ		●	●	●		●	●			3
		ハリガネワラビ		●	●	●	○	●	●	●	●	14
		ヤワラシダ		●	●	●	○	●	●	●	●	11
		イワハリガネワラビ			●							0
		ヒメシダ		●	●			●	●	○	●	6
		ミゾシダ		●	●	○	●	●	●		●	8
	イワデンダ科	フクロシダ		●				●	●			1
		イワデンダ			●				●			1
	ヌリワラビ科	ヌリワラビ						●	●		●	2
	コウヤワラビ科	イヌガンソク		●	●			●	○	○	●	2
		コウヤワラビ		○	●			●	●			1
		クサソテツ		●	●			●	○	○	○	0
	シシガシラ科	オサシダ		●			●	●				7
		シシガシラ		●	●	●	●	●	●	●	●	15
		コモチシダ		●			●					5
	メシダ科	イヌワラビ		●	●	●	●	●	●	○	●	9
		カラクサイヌワラビ		●	●			●	○		●	3
		ヤマカラクサイヌワラビ		●								2
		シケチシダ		●	●			●	●	○	○	5
		サトメシダ		●	●			●	●	○	●	6
		ミヤコイヌワラビ						●	●			0
		トガリバイヌワラビ		●								0
		ホソバイヌワラビ		●	●	●		●	●	○		5
		タニヌワラビ		●	●			●	●			2
		ヤマイヌワラビ		●	●	●		●	○	●	●	4
		ヒロハイヌワラビ		●	●			●	●	●	●	5
		オオサトメシダ		●								1
		ヘビノネゴザ		●	●		●	●	●	●	●	4
		ホソバシケシダ		●	●	●			●	●	●	3
		オオホソバシケシダ									●	1
		ホソバムクゲシケシダ		●								1
		ホソバフモトシケシダ		●								1
		セイタカシケシダ		●	●			●	●			5
		シケシダ		●	●	●	○	●	●	○	○	4
		タマシケシダ		●	●							1
		ムクゲシケシダ							●		●	1
		ウスバシケシダ		●	●							1
		オオヒメワラビ		●				●	●			2
		ハクモウイノデ						●	●	●	●	3
		ウスゲミヤマシケシダ						●	●		●	3
		ヒカゲワラビ		●	●				●			3
		ウスバミヤマノコギリシダ		●				●	●			2
		ミヤマノコギリシダ		●				●				1
		オニヒカゲワラビ		●								1
		キヨタキシダ		●	●			●	●	○	●	3
	オンシダ科	オオカナワラビ		●	●							1
		ホソバナライシダ						○	○	●	●	1
		オニカナワラビ		●	●			●	●			1
		ナンゴクナライシダ		●	●	●		●	●	●	○	2
		シノブカグマ						○	○	○	●	1
		ミドリカナワラビ						●	●			1
		ヒロハナライシダ						●				0
		ハカタシダ		●				●	●			2
		コバノカナワラビ							●			1
		リョウメンシダ		●	●	●	●	●	●	○	●	13
		ヤブソテツ		●	●	●	●	●	●	○	●	13
		テリハヤブソテツ		●	●	●	●	○	●	○	●	5
		ミヤコヤブソテツ		●					●			0
		イワヘゴ		●	●			●	●			3
		ヤマイタチシダ		●	●	○	●	●	●	●	●	8
		サイゴクベニシダ		●	●	●		●	●			4
		ミサキカグマ		●	●			●	●	●	●	4

目 名	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数		
ウラボシ目	オシダ科	オシダ			●			●	●	○	●	2		
		ナチクジャク			●			●	●			0		
		オオクジャクシダ		●				●	●	●		2		
		ベニシダ		●	●	●	●	●	●	●	○	11		
		マルバベニシダ		●	●	●		●	●			2		
		ヌカイタチシダ		●		●		●				0		
		オオイタチシダ		●	●			●	●			2		
		オオベニシダ		●	●	●		●	●	●		6		
		ヌカイタチシダモドキ		●	●			●				1		
		ギフベニシダ		●	●	●						3		
		キノクニベニシダ		●	●	●						2		
		リョウトウイタチシダ			●							0		
		クマワラビ		●	●		●	●	●	●	●	5		
		キヨスミヒメワラビ		●	●			●	●			4		
		エンシュウベニシダ		●				●			●	5		
		トウゴクシダ		●	●	●		●	●			5		
		アツギノヌカイタチシダマガイ			●							0		
		ミヤマクマワラビ										●	0	
		オウセベニシダ		●									1	
		ミヤマイタチシダ		○	●			●	●	●	●	2	2	
		ヒメイタチシダ			●								0	
		イワイタチシダ										●	0	
		イヌイワイタチシダ										●	1	
		ヌカイタチシダマガイ		●	●	●		●					1	
		タニヘゴ					●			●	●		2	
		オクマワラビ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	7	
		アイノコクマワラビ		●	●		●						2	
		ツルデンド							●				0	
		アイアスカイノデ		●	●	○	○	●	●	●	●	●	2	
		カタイノデ		●	●					●			1	
		オオキヨズミシダ								●			0	
		ツヤナシイノデ		●	●			●	●	●	○	●	4	
		イノデ		●	●	○	●	●	●	●	●	●	8	
		サイゴクイノデ		●					●	●			3	
		サカゲイノデ		●	●		●	●	○	○	○	○	2	
		イノデモドキ		●	●			●	●	●	○	●	5	
		ジュウモンジシダ		●	●		●	●	●	●	●	●	9	
		ヒメカナワラビ						●	●				1	
		ドウリョウイノデ		●		●							1	
		フナコシイノデ							●				0	
		キヨズミイノデ		●									2	
		アマギイノデ		●									0	
		サカゲカタイノデ								●			0	
		ナメライノデ								●			1	
		オンガタイノデ							●	●			0	
		シノブ科	シノブ		●	●		●	●	●			●	7
		ウラボシ科	アオネカズラ					●		●				3
			マメヅタ		●	●		●	●	●	○	○		9
			ヤノネシダ						●					0
			ヒメノキシノブ		●		●		●			●		3
			ノキシノブ		●	●	●	●	●	●	○	●		12
			サジラン		●				●	●				5
			ヒメサジラン							●				1
			オオクボシダ						●					0
			クリハラン					●	●					1
	オシャグジデンド			●			●						1	
	イワオモダカ			●			●						1	
	ビロードシダ			●			●		●				1	
	ヒトツバ			●	●	●	●	●	●	○	○		14	
	ミツデウラボシ			●	●		○	●	●	○	○		5	
確認種数			208	2	150	118	57	64	145	146	76	81		

種の分類および科の配列は、「海老原淳・日本産シダ植物標準図鑑Ⅰ・学研・2016」「海老原淳・日本産シダ植物標準図鑑Ⅱ・学研・2017」によった。

●印は、標本があるもの、および観察会により確認され文書による報告のなされたもの。

○印は、生育の確認はされているが文書による報告がなされていないもの。

メッシュ数は加茂地区生物基礎調査データ（2018年8月入力分まで）にメッシュ No. が記載されているもののみ計数

2. 動植物

植物種目録 種子植物

種子植物 (1/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
裸子植物	イチョウ科	イチョウ			●						●	0
	マツ科	モミ						●	●	●	●	3
		アカマツ		●	●	○	●	●	●	●	●	13
		ヒメコマツ					●	●	●	●	●	5
		クロマツ			●							0
		ツガ			●		●	●		●		6
	スギ科	スギ		●	●	○	●	●	●	●	●	10
		コウヨウザン	※					●				0
		メタセコイア	※		●							0
		コウヤマキ			●		●	●	●			4
	ヒノキ科	ヒノキ		●	●	○	●	●	●	●	●	12
		サワラ						●				0
		ネズミサシ		●	●	●	●	●				8
		オキアガリネズ		●		○						0
		アスナロ								●	●	2
	マキ科	イヌマキ		●	●	○						1
	イヌガヤ科	イヌガヤ		●		○	●		●		●	3
		ハイイヌガヤ			●			●				0
	イチイ科	イチイ						●				0
		カヤ		●	●		●	●		●	●	5
被子植物	ヤマモモ科	ヤマモモ		●						●		4
双子葉植物	クルミ科	オニグルミ		●	●	○	●	●			●	6
		サワグルミ				○	●					1
離弁花類	ヤナギ科	ヤマナラシ		●	●							0
		バッコヤナギ		●	●		●	●	●			2
		マルバヤナギ		●	●		●					2
		ジャヤナギ		●								0
		オオキツネヤナギ									●	1
		カワヤナギ			●	○	●	●				1
		ネコヤナギ		●	●	○	●	●			●	2
		イヌコリヤナギ		●	●			●				0
		コゴメヤナギ		●	●							0
		タチヤナギ		●	●							0
		キツネヤナギ			●			●			●	1
	カバノキ科	ヤシャブシ			●		●	●		●		1
		ミヤマヤシャブシ		●								1
		ケヤマハンノキ		●	●		●					1
		ヤマハンノキ						●	●		●	1
		ハンノキ		●	●	○	●					6
		ヒメヤシャブシ		●	●							2
		カワラハンノキ		●	●		●	●				6
		オオバヤシャブシ		●	●					●		2
		サクラバハンノキ			●				●			3
		ミズメ						●	●			2
		シラカンバ									●	1
		クマシデ		●				●		●		3
		アカシデ		●	●		●	●	●	●	●	8
		イヌシデ		●	●			●		●		2
		ツノハシバミ							●	●	●	5
	ブナ科	クリ		●	●	○	●	●	●	●	●	8
		ツブラジイ		●	●	●	●	●	●	●	●	45
		スダジイ					●					0
		ブナ								●		2
		イヌブナ						●		●	●	4
		マテバシイ		●								1
		ミズナラ						●	●	●	●	6
		イチイガシ					●	●				1
		アラカシ		●	●	○	●	●	●		●	10
		シラカシ		●	●	●	●	●	●	●		7
		ウラジログシ			●		●	●	●	●		5
		コナラ		●	●	○	●	●	●	●	●	19
		ツクバネガシ					●	●	●	●	●	2
		アベマキ		●	●	○	●	●	●	●		9
	ニレ科	ムクノキ		●	●	○	●	●				7
		エノキ		●	●	○	●					5
		ケヤキ		●	●	○	●	●	●	●		4
	クワ科	ヒメコウゾ		●	●		●	●	●		●	11
		クワクサ		●	●	○	●	●			●	4
		イタビカズラ		●	●		●	●				7
		カナムグラ		●	●	○	●	●				4
		マダワ		●	●	○	●	●		●		8

種子植物 (2/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 離弁花類	イラクサ科	ヤブマオ		●	●	○	●	●				1
		カラムシ		●	●	○	●	●	●			8
		アオカラムシ	※		●							0
		ナンバンカラムシ	※	●								1
		メヤブマオ		●			●	●				3
		ナガバヤブマオ		●	●		●	●	●			4
		コアカソ		●	●	○	●	●	●	●	●	9
		アカソ		●	●		●	●		●	●	13
		ヤマトキホコリ						●				0
		ウワバミソウ		●			●	●	●			4
		カテンソウ		●								2
		サンショウソウ		●			●	●	●			6
		オオサンショウソウ		●	●							1
		ミズ		●			●	●	●			3
		ヤマミズ						●	●			1
		アオミズ		●	●		●	●	●			2
	ビャクダン科	ツクバネ					●	●		●	●	6
		カナビキソウ		●	●		●		●			5
	タデ科	ミズヒキ		●	●	○	●	●	●		●	7
		シンミズヒキ			●			●				0
		ハルトラノオ					●	●	●			5
		シャクチリソバ	※	●								0
		サクラタデ				●	●					3
		ミヤマタニソバ						●				0
		サイコクヌカボ			●							0
		ヤナギタデ		●	●							0
		シロバナサクラタデ		●								0
		オオイヌタデ		●	●	○	●					0
		イヌタデ			●	●	●	●	●		●	6
		サデクサ					●					0
		オオネバリタデ		●				●				1
		タニソバ						●				0
		ヤノネグサ		●	●	○	●	●	●			1
		イシミカワ			●		●	●				1
		オオケタデ	※	●	●		●					1
		ボントクタデ		●	●		●	●	●			1
		サナエタデ			●							0
		ママコノシリヌグイ			●	●	●					2
		アキノウナギツカミ		●	●		●	●	●			3
		ミゾソバ		●	●	●	●	●	●		●	8
		オオミゾソバ		●								1
		ネバリタデ			●							0
		ハルタデ			●							0
		オオハルタデ			●							0
		ハナタデ		●	●		●	●	●		●	4
		ハイミチヤナギ			●							0
		ミチヤナギ			●							0
		イタドリ		●	●	○	●	●	●	●	●	11
		スイバ		●	●	○	●	●	●		●	8
		ヒメスイバ	※		●		●			●		0
		アレチギシギシ	※		●		●					0
		ナガバギシギシ	※		●							0
		ギシギシ			●		●	●				3
		エゾノギシギシ	※	●	●	○	●	●	●			1
	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	※	●	●	○	●	●	●			5
	オシロイバナ科	オシロイバナ	※	○	●	○						0
	ザクロソウ科	ザクロソウ		●	●	○	●	●			●	6
		クルマバザクロソウ	※		●		●					0
	スベリヒユ科	スベリヒユ		●	●	○	●	●				1
		ヒメマツバボタン	※	●	●			●				1
		ハゼラン		●								1
	ツルムラサキ科	ツルムラサキ	※		●							0
	ナデシコ科	ノミノツヅリ		●	●		●					6
		オランダミミナグサ	※	●	●	○	●	●	●		●	5
		ミミナグサ		●	●		●	●			●	4
		ナンバンハコベ		●			●					2
		カワラナデシコ		●	●							2
		ガンビ		●	●		●	●				3
		フシグロセンノウ		●				●	○			1
		ウシハコベ		●	●		●	●	●		●	9
		イヌコモチナデシコ	※	●								0
		ツメクサ		●	●	○		●				1
		サボンソウ	※		●							0

2. 動植物

種子植物 (3/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 離弁花類	ナデシコ科	ムシトリナデシコ	※	●	●							6
		フシグロ		●	●			●				1
		ノミノフスマ		●	●		●	●	●		●	8
		サワハコベ		●	●			●				1
		コハコベ		●	●	○	●	●	●			8
		ミドリハコベ		●			●		●			2
		ミヤマハコベ					●	●				0
	アカザ科	アリタソウ	※	●			●					1
		ケアリタソウ	※	●	●			●				2
		シロザ	※	●	●		●	●				3
		アカザ	※	●	●		●					1
		ゴウシュウアリタソウ	※	●	○	○						0
		ヒカゲイノコヅチ		●	●	○	●	●	●	●		7
		ヒナタイノコヅチ		●	●	○	●	●	●		●	7
	ヒユ科	ヤナギイノコヅチ		●	●							7
		イヌビユ		●			●	●				1
		スギモリゲイトウ	※		●							0
		ホソアオゲイトウ	※	●	●							2
		アオゲイトウ	※		●							0
		ヒユ	※	●								0
		ホナガイヌビユ	※	●	●		●					1
		ノゲイトウ	※			○						0
	モクレン科	ユリノキ	※		●							0
		ホオノキ		●	●	●	●	●	●	●	●	19
		コブシ		●	●							2
		タムシバ		●			●	●	●	●	●	13
		シデコブシ		●	●	●				●		6
	マツバサ科	サネカズラ		●	●	○	●	●		●		9
		マツバサ		●			●	●				2
	シキミ科	シキミ		●	●	○	●	●	●	●		13
	クスノキ科	クスノキ		●	●		●					2
		ヤブニツケイ		●	●		●	●	●			5
		ニツケイ		●								2
		カナクギノキ		●			●	●	●	●	●	7
		ヤマコウバシ		●	●		●	●				7
		ヒメクロモジ		●				●	●	●		10
		ダンコウバイ		●	●		●	●	●	●	●	9
		アブラチャン						●				0
		ウスゲクロモジ							●			0
		シロモジ		●			●	●	●	●	●	16
		クロモジ		●		○	●	●	●	●		10
		カゴノキ			●		●					1
		タブノキ		●			●	●				5
		イヌガシ			●							0
		シロダモ					●	●				1
	ヤマグルマ科	ヤマグルマ		●			●	●				4
	フサザクラ科	フサザクラ					●	●		●	●	2
	キンボウゲ科	ニリンソウ		●				●	●			8
		シュウメイギク	※	●				●				3
		イチリンソウ						●				2
		キクザキイチゲ						●	●			2
		ヤマオダマキ		●						●		3
		イヌショウマ		●				●				2
		サラシナショウマ					●					1
		ボタンツル		●	●		●	●	●		●	7
		コボタンツル					●			●		0
		ハンショウヅル		●			●	●	●		●	4
		カザグルマ				●						0
		クサボタン						●			●	1
		センニンソウ		●	●	○	●	●				8
		セリバオウレン						●	●	●		1
		コセリバオウレン					●	●	●			0
		バイカオウレン						●		●		3
		トウゴクサバノオ						●				0
		ケキツネノボタン		●	●	○	●					0
		ウマノアシガタ		●	●	○	●	●	●		●	11
		タガラシ		●	●							1
		キツネノボタン		●	●		●	●				7
		ヒメウス		●	●	○	●	●				5
		セツブンソウ						●				1
		カラマツソウ					●					1
		アキカラマツ		●	●		●	●				4

種子植物 (4/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 離弁花類	メギ科	ヘビノボラズ			●				●	●	●	5
		メギ						●		●	●	2
		イカリソウ		●					●			3
		ホソバヒイラギナンテン	※	●								1
		ヒイラギナンテン	※	●	●							1
		ナンテン		●	●	○	●	●	●			7
	アケビ科	ゴヨウアケビ				●	●	●				1
		アケビ		●	●	●	●	●	●	●		15
		ミツバアケビ		●	●	○	●	●	●	●		15
		ムベ		●	●		●	●	●			5
	ツツラフジ科	アオツツラフジ		●	●	○	●	●	●	●	●	12
		ツツラフジ						●				0
	スイレン科	ジュンサイ			●	○						1
		コウホネ		●	●	●						2
		ヒメコウホネ				●						1
	ドクダミ科	ドクダミ		●	●	○	●	●	●		●	10
	センリョウ科	ヒトリシズカ						●				0
		フタリシズカ		●			●	●		●	●	8
		センリョウ	※	●	●	○	●					5
	ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ		●	●							4
		フタバアオイ						●				0
		ヒメカンアオイ		●	●	●	●	●		●	●	11
	マタタビ科	サルナシ		●			●	●	●	●		5
		キウイ (オニマタタビ)	※	●				○				2
		マタタビ		●			●	●	●	●		14
	ツバキ科	ヤブツバキ		●	●	○	●	●	●			14
		チャノキ	※	●	●	○	●	●	●		●	9
		サカキ		●	●	○	●	●	●	●		11
		ヒサカキ		●	●	○	●	●	●	●	●	25
		ナツツバキ							●	●		2
		モッコク	※	●								2
	オトギリソウ科	トモエソウ							●			1
		ビヨウヤナギ	※				●	●				1
		オトギリソウ		●	●		●	●	●	●	●	10
		アゼオトギリ						●				0
		キンシバイ	※				●					0
		コゴメバオトギリ			●					●		0
		サワオトギリ		●	●			●		●		2
		ヒメオトギリ		●	●							2
		コケオトギリ		●	●			●	●	●		5
	モウセンゴケ科	モウセンゴケ		●				●	●	●		5
		トウカイコモウセンゴケ				●						1
	ケシ科	クサノオウ		●	●		●	●			●	6
		ジロボウエンゴサク		●	●		●	●	●			10
		キケマン					●					1
		ムラサキケマン		●	●		●	●	●		●	7
		ヤマエンゴサク		●								1
		ミヤマキケマン		●			●	●				5
		タケニグサ		●	●	●	●	●	●	●		9
		ケナシチャンバギク			●							0
		モンツキヒナゲシ	※		●							0
		ナガミヒナゲシ	※	●								1
		ヒナゲシ	※	●								1
		アツミゲシ	※	●								1
	フウチョウソウ科	セイヨウフウチョウソウ	※		●						●	1
	アブラナ科	ヤマハタザオ		●	●		●	●	●			2
		ハルザキヤマガラシ	※	●			●					3
		カラシナ	※	●	●							0
		セイヨウアブラナ	※	●	●							1
		ナズナ		●	●		●		●			1
		ヒロハコンロンソウ							●			0
		ミズタネツケバナ		●								0
		タネツケバナ		●	●	○	●	●	●		●	6
		タチタネツケバナ			●							0
		ミチタネツケバナ	※	●							●	5
		ジャニンジン			●		●	●				0
		ミズタガラシ			●		●					0
		オオバタネツケバナ		●	●		●	●	●			4
		イヌナズナ		●								1
		マメゲンバイナズナ	※	●	●		●	●				0
		オランダガラシ	※	●	●							3
		ショカツサイ	※		●							
		イヌガラシ		●	●		●	●			●	5

2. 動植物

種子植物 (5/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 離弁花類	アブラナ科	スカシタゴボウ		●	●		●	●				0
		グンバイナズナ	※	●								1
		ハタザオ			●		●					0
		ワサビ		●			●		●			3
		ユリワサビ						●				1
	マンサク科	コウヤミズキ						●	●	●	●	9
		マルバノキ		●				●	●	●	●	10
		マンサク		●	●		●	●	●			3
	ベンケイソウ科	ツメレンゲ		●	●		●	●	●			8
		キリンソウ		●								1
		コモチマンネングサ		●	●		●	●	●			7
		オノマンネングサ		●	●		●					1
		マルバマンネングサ		●	●							3
		メキシコマンネングサ	※	●								1
		ツルマンネングサ	※	○	●	○						0
		ヒメレンゲ		●				●				0
	ユキノシタ科	チダケサシ					●	●	●	●		4
		アカシヨウマ					●			●		1
		トリアシヨウマ		●			●	●	●		●	2
		クサアジサイ		●			●	●			●	1
		ツルネコノメソウ					●					0
		ネコノメソウ		●	●		●	●	●			6
		ヤマネコノメソウ		●			●	●				2
		イワボタン							●			1
		ヒダボタン						●				0
		ニッコウネコノメソウ						●				0
		コガネネコノメソウ						●				0
		タチネコノメソウ		●	●			●	●			3
		ウツギ			●	○	●	●	●	●	●	7
		ヒメウツギ			●		●	●			●	2
		ウラジロウツギ						●				0
		マルバウツギ									●	1
		コアジサイ		●	●	○	●	●	●	●	●	14
		タマアジサイ					●	●	●		●	6
		コガクウツギ					●					1
		ノリウツギ			●	○	●	●	●	●	●	5
		ツルアジサイ					●	●		●		1
		ガクウツギ		●			●	●	●			4
		ヤマアジサイ		●	●		●	●		●	●	5
		ミカワチャルメルソウ		●	●		●	●	●			10
		コチャルメルソウ						●	●		●	3
		ウメバチソウ		●						●		0
		シラヒゲソウ								●		1
		バイカウツギ					●	●	●	●		2
		ジンジソウ						●				0
		ナメラダイモンジソウ			●		●	●		●	●	8
		ユキノシタ			●		●	●	●			4
		イワガラミ		●	●		●	●	●	●	●	9
	バラ科	ヒメキンミズヒキ		●	●	○			●	●	●	4
		キンミズヒキ			●	○	●	●	●	●		6
		ザイフリボク			●				●			1
		ヤマブキシヨウマ					●					1
		クサボケ		●	●		●					0
		ヘビイチゴ		●	●	○	●	●	●		●	5
		ヤブヘビイチゴ		●	●	○	●	●		●		2
		ビワ	※		●		●					1
		ダイコンソウ					●	●	●	●	●	8
		ヤマブキ		●	●		●	●				0
		ズミ			●		●	●	●		●	3
		オオウラジロノキ							●		●	2
		カナメモチ		●	●		●					2
		ヒメヘビイチゴ							●			2
		キジムシロ					●					0
		ミツバツチグリ		●	●		●	●	●		●	5
		オヘビイチゴ		●	●		●	●	●		●	7
		カマツカ		●	●		●	●	●	●	●	7
		ミヤマチョウジザクラ						●				0
		イヌザクラ			●			●				0
		ウヅミズザクラ		●	●	○	●	●	●	●	●	10
		ヤマザクラ		●	●	●	●	●	●	●	●	27
		ミヤマザクラ									●	1
		エドヒガン		●	●	●	●	●				12
		リンボク		●	●		●	●	●			2

種子植物 (6/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 離弁花類	バラ科	カスミザクラ			●		●	●	●	●	●	25
		タチバナモドキ			●							0
		ノイバラ		●	●	○	●	●				1
		ヤブイバラ								●		1
		ミヤコイバラ		●	●		●		●	●	●	5
		ヤマイバラ		●			●	●				3
		テリハノイバラ					●					0
		フユイチゴ		●	●	○	●	●	●			9
		ビロードイチゴ							●			1
		クマイチゴ		●	●		●	●	●	●	●	5
		ミヤマフユイチゴ		●		○		●	●			1
		クサイチゴ			●		●	●	●	●		3
		ニガイチゴ		●	●		●	●	●	●		5
		ナガバモミジイチゴ		●	●		●	●	●	●	●	10
		ナワシロイチゴ		●	●		●	●	●	●		2
		コバノフユイチゴ		●								1
		エビガライチゴ		●	●					●		1
		ワレモコウ		●	●	●	●		●		●	6
		コジキイチゴ		●	●		●	●				1
		アズキナシ		●	●		●	●	●	●		2
		ナナカマド								●		1
		ナンキンナナカマド			●		●	●	●			3
		ウラジロノキ		●	●		●	●	●	●		5
		コデマリ			●							0
		ユキヤナギ	※	●	●		●	●				4
		コゴメウツギ						●			●	1
	マメ科	クサネム		●			●					0
		アメリカクサネム	※		○							
		ネムノキ		●	●	●	●	●	●	●		9
		イタチハギ	※		●			●				0
		ヤブマメ		●	●	●	●	●	●		●	6
		ホドイモ			●			●				0
		ゲンゲ	※	●	●		●	●	●		●	3
		ジャケツイバラ		●	●		●	●				2
		カワラケツメイ		●	●		●					4
		アレチケツメイ	※	●	●	●						7
		エビスグサ	※		●		●					1
		フジキ					●					0
		エニシダ								●		0
		タヌキマメ		●	●							3
		フジカンソウ		●			●	●	●			2
		アレチヌスビトハギ	※	●	●	○	●	●			●	4
		マルバヌスビトハギ		●								0
		ケヤブハギ		●	●							0
		ヌスビトハギ		●			●	●	●	●	●	8
		ヤブハギ		●						●		1
		ノササゲ		●			●	●	●	●		2
		ノアズキ			●		●					0
		ツルマメ		●	●			●				1
		トウコマツナギ	※	●	○	●	○					2
		ニワフジ			●			●				0
		コマツナギ		●	●		●	●				2
		イタチササゲ					●					0
		ヤマハギ		●	●	○	●	●		●	●	3
		キハギ			●		●	●	●	●	●	4
		マルバハギ		●	●	○	●	●		●	●	1
		ツクシハギ		●	●			●				0
		ハイメドハギ			●					●		0
		メドハギ		●	●	○	●	●		●		1
		ネコハギ		●	●	○	●	●	●	●		2
		マルバヤハズソウ			●							0
		ヤハズソウ		●	●	○	●	●		●	●	3
		ビッチュウヤマハギ			●							0
		ニシキハギ		●								0
		イヌハギ		●	●							0
		マキエハギ		●	●		●					1
		セイヨウミヤコグサ	※		●							0
		ミヤコグサ			●							0
		イヌエンジュ			●			●	●		●	3
		コメツブウマゴヤシ	※	●								1
		ムラサキウマゴヤシ	※		●							0
		クズ		●	●	●	●	●			●	6
		トキリマメ		●	●		●	●	●			2

2. 動植物

種子植物 (7/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 離弁花類	マメ科	ハリエンジュ	※	●	○	○	●					3
		アメリカツノクサネム	※		●							0
		クララ		●	●		●	●				3
		コメツブツメクサ	※		●	○	●				●	1
		ベニバナツメクサ	※		●							0
		ムラサキツメクサ	※	●	●			●			●	4
		シロツメクサ	※	●	●	○	●	●	●	●	●	6
		ヤハズエンドウ		●	●		●	●	●		●	4
		スズメノエンドウ		●	●		●	●	●			2
		カスマグサ		●	●		●					0
	カタバミ科	ナンテンハギ			●		●	●				0
		ヤブツルアズキ		●	●	●	●	●				5
		ヤマフジ							●			1
		フジ		●	●	●	●	●	●	●	●	9
		イモカタバミ	※	●	●							1
		ハナカタバミ	※				●	●				0
		カタバミ		●	●	○	●	●	●			3
		タチカタバミ		●	●							1
		アカカタバミ		●	●							1
		ウスアカカタバミ		●		○						1
	フウロソウ科	ムラサキカタバミ	※		●			●			●	1
		エゾタチカタバミ						●				0
		ミヤマカタバミ		●				●	○	○		1
		オッタチカタバミ	※	●	●		●	●			●	5
	トウダイグサ科	オランダフウロ	※		●	○						0
		アメリカフウロ	※	●	●		●				●	5
		ゲンノショウコ		●	●	●	●	●	●	●	●	15
		エノキグサ		●	●	○	●	●			●	3
		ショウジョウソウ						●				0
		ニシキソウ		●	●							1
		オオニシキソウ	※	●	●	○	●	●			●	3
		ハツユキソウ			●							0
		タカトウダイ		●	●							1
		コニシキソウ	※	●	●	○	●	●			●	3
		アカメガシワ		●	●	●	●	●	●		●	0
		コバンノキ		●			●	●		●		3
		ヒメミカンソウ		●	●		●	●		●	●	6
		コミカンソウ		●	●	○	●	●				2
		シラキ					●	●		●	●	6
	ユズリハ科	ナンキンハゼ	※	●	●					●		3
		ユズリハ		●	●		●	●				3
	ミカン科	マツカゼソウ		●			●	●	●	●		6
		コクサギ		●			●	●			●	4
		ミヤマシキミ		●	●		●	●	●			7
		ツルシキミ						●	●			1
		カラスザンショウ		●	●	●	●	●	●	●		10
		フユザンショウ		●			●	●				4
		サンショウ		●	●		●	●	●	●	●	9
		イヌザンショウ		●	●	○	●	●		●	●	6
	ニガキ科	ニワウルシ	※	●	●		●					2
		ニガキ		●	●			●				3
センダン科	センダン	※	●	●								2
ヒメハギ科	ヒメハギ			●	●		●	●	●	●	●	9
ドクウツギ科	ドクウツギ						●					0
ウルシ科	ツタウルシ			●			●	●	●	●	●	6
	ヌルデ			●	●	○	●	●	●	●	●	14
	ハゼノキ	※		●				●				0
	ヤマハゼ			●	●	○	●	●				7
	ヤマウルシ			●	●	○	●	●	●	●	●	11
	ウルシ							●				0
カエデ科	オオモミジ				●			●	●	●		1
	フカギレオオモミジ							●				0
	ヤマモミジ									●	●	4
	トウカエデ	※			●							0
	チドリノキ			●				●				0
	ウリカエデ			●	●		●	●	●	●	●	11
	ヒトツバカエデ									●		1
	カラコギカエデ				●							0
	コミネカエデ							●		●		1
	ウラゲエンコウカエデ										●	1
	エンコウカエデ						●	●				0
	イタヤカエデ							●	●	●		3
	メグスリノキ									●		1

種子植物 (8/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 離弁花類	カエデ科	イロハモミジ		●	●	○	●	●	●	●		9
		ハナノキ			●			●	●	●	●	6
		ウリハダカエデ		●			●	●	●	●		8
		コハウチワカエデ		●			●	●	●	●	●	13
		ヒナウチワカエデ						●	●		●	1
	ムクロジ科	ムクロジ		●			○	●				1
	トチノキ科	トチノキ			●			●				0
	アワブキ科	アワブキ		●			●	●			●	7
	ツリフネソウ科	キツリフネ			●		●	●				0
		ツリフネソウ		●			●	●			●	10
	モチノキ科	イヌツゲ		●	●	○	●	●	●	●	●	18
		モチノキ		●								2
		タラヨウ		●	●		●	●				6
		アオハダ		●	●	○	●	●	●	●		8
		タマミズキ			●			○				0
		ミヤマウメモドキ							●	●		3
		ソヨゴ		●	●	○	●	●	●	●	●	20
		クロガネモチ		●	●							3
		ウメモドキ		●	●		●	●	●			7
		イヌウメモドキ					●					0
		クロソヨゴ		●				●	●		●	3
	ニシキギ科	イワウメツル						●				0
		ツルウメモドキ		●	●	○	●	●				9
		オニツルウメモドキ		●								2
		ニシキギ		●			●		●	●	●	12
		コマユミ		●	●	○	●	●	●			0
		ツルマサキ		●				●				2
		ツリバナ		●			●	●	●	●	●	7
		マユミ			●		●	●		●		1
		カントウマユミ		●								2
	ミツバウツギ科	ゴンズイ		●	●		●					5
		ミツバウツギ		●	●		●	●	●			3
	クロウメモドキ科	クマヤナギ		●	●		●	●		●	●	7
		イソノキ		●	●		●	●	●	●		7
		ケケンボナシ		●			●	●		●	●	8
		クロウメモドキ		●	●							3
	ブドウ科	ノブドウ		●	●	○	●	●	●	●	●	14
		キレハノブドウ		●								1
		ヤブガラシ		●	●	○	●	●				2
		ツタ		●	●	○	●	●	●	●	●	4
		サンカクヅル		●			●	●	●	●	●	7
		アマツル		●	●					●	●	5
		エビヅル		●	●		●	●			●	5
	シナノキ科	カラスノゴマ		●			●	●			●	4
		ラセンソウ		●								3
	アオイ科	イチビ	※	●	●							1
		モミジアオイ	※		●							0
		フヨウ	※		●							1
		ムクゲ	※	●								1
		ゼニバアオイ	※		●							0
		キクノハアオイ	※	●								1
		キンゴジカ	※	●	●							1
		アメリカキンゴジカ	※	●	●							3
	ジンチョウゲ科	コショウノキ		●								1
		ミツマタ		●				●				1
	グミ科	ツルグミ		●	●		●	●				7
		ナツグミ					●	●				0
		トウグミ			●							0
		ナワシログミ					●			●		0
		アキグミ		●	●							0
		イイギリ			●			●	●	●	●	4
	スミレ科	アリアケスミレ			●							0
		ナガバノスミレサイシン			●		●	●		●		1
		ヒメスミレ			●		●					0
		エイザンスミレ						●				0
		タチツボスミレ		●	●	○	●	●	●	●	●	18
		アオイスミレ		○	●		●	●		●		3
		コスミレ		●	●		●	●				1
		マルバースミレ						●	●			0
		オオタチツボスミレ		●								1
		スミレ		●	●			●	●			1
		ニオイタチツボスミレ		●	●			●	●		●	9
		ナガバタチツボスミレ		●	●			●				3

2. 動植物

種子植物 (9/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 離弁花類	スミレ科	アケボノスミレ		●								0
		フモトスミレ		●	●		●	●	●			1
		サンシキスミレ	※	●	●							1
		ツボスミレ		●	●	●	●	●	●		●	9
		アギスミレ		○	●	●	●	●	●	●	●	8
		ヒメアギスミレ								●		0
		シハイスミレ		●	●		●	●		●	●	9
		マキノスミレ		●	●			●	●			1
		ノジスミレ		●	●			●				4
	キブシ科	キブシ		●		○	●	●	●	●	●	15
	ミゾハコベ科	ミゾハコベ		●	●							3
	シュウカイドウ科	シュウカイドウ	※	●								1
	ウリ科	アマチャツル		●	●	○	●	●				4
		スズメウリ		●	●	●	●	●				6
		アレチウリ	※	●	●	●	●	●				5
		カラスウリ		●	●	○	●	●				6
		キカラスウリ		●				●				1
	ミソハギ科	ホソバヒメミソハギ	※	●	●		●					5
		ヒメミソハギ		●								5
		ミソハギ		●	●			●				4
		キカシグサ		●	●			●				5
		ミズマツバ		●	●			●				8
		ヒメビシ							●			1
	ヒシ科	ヒシ		●	●	●	●					5
		タニタデ						●				0
	アカバナ科	ミズタマソウ		●	●		●	●				2
		アカバナ		●	●		●				●	5
		ヒレタゴボウ	※	●	●	●	●	●	○	○		7
		チョウジタデ		●	●		●	●			●	6
		ウスゲチョウジタデ			●							0
		ミズユキノシタ		●	●							3
		メマツヨイグサ	※	●	●						●	2
		オオマツヨイグサ	※	●			●	●	●			3
		コマツヨイグサ	※	●	●							1
		アレチマツヨイグサ	※			○	●					0
		ユウゲショウ	※	●								1
		ヒルザキツキミソウ	※				●					1
		マツヨイグサ	※	●								1
	アリノトウグサ科	アリノトウグサ		●	●	○		●	●	●		3
		オオフサモ	※	●								2
		フサモ				●						1
	ヤマトグサ科	ヤマトグサ		●								1
	ウリノキ科	ウリノキ					●	●				1
	ミズキ科	アオキ		●	●		●	●	●			13
		ヤマボウシ					●		●	●	●	5
		サンシュユ		●								1
		ハナйкаダ		●			●	●	●			10
		ミズキ		●			●	●	●		●	4
		クマノミズキ		●			●	●				6
	ウコギ科	ケヤマウコギ		●	●							2
		オカウコギ			●							0
		コシアブラ		●	●	○	●	●	●	●	●	17
		ヤマウコギ			●	○	●	●				1
		ウド		●	●		●	●	●		●	7
		タラノキ		●			●	●	●	●		13
		メダラ			●							0
		カクレミノ		●	●		●					4
		タカノツメ		●	●	○	●	●	●	●	●	18
		ヤツデ		●	●	○	●					3
		キツタ		●	●	○	●	●	●			8
		ヒメチドメ						●				0
		ハリギリ		●			●	●			●	2
		ケハリギリ			●							0
		トチバニンジン						●	●	●		2
	セリ科	ノダケ		●			●	●				0
		シラネセンキュウ					●	●				1
		シシウド					●				●	1
		ノハラジャク	※		●							0
		ツボクサ			●							0
		セントウソウ		●	●		●	●				0
		ドクゼリ			●							0
		ミツバ		●	●	○	●	●	●			2
		オオバチドメ		●				●	●			1

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 離弁花類	セリ科	ノチドメ		●	●	○			●	●		1
		オオチドメ		●	●			●				0
		チドメグサ		●	●	○	●	●				1
		セリ			●		●	●	●			4
		ヤブニンジン			●		●	●				1
		ヤマゼリ									●	1
		ウマノミツバ		●				●				0
		ムカゴニンジン		●	●				●			2
		ヤブジラミ		●	●		●	●				3
被子植物 双子葉植物 合弁花類	イワウメ科	ナンカイヒメイワカガミ		●	●		●	●	●	○		6
		リョウブ科		●	●	○	●	●	●	●	●	19
		イチャクソウ科		●								1
		アキノギンリョウソウ		●								2
		ギンリョウソウ		●			●	●	●	○		5
		イチャクソウ		●	●		●	●				4
	ツツジ科	ホツツジ			●		●	●				0
		サラサドウダン							●	●	●	5
		ベニドウダン						●	●	●	●	4
		コアブラツツジ			●		●	●	●	●		3
		カインササラサドウダン						●				0
		ハナヒリノキ		●				●		●		1
		ウラジロハナヒリノキ						●				0
		イワナンテン		●			●	●	●			7
		ネジキ		●	●	○	●	●	●	●	●	16
		ツリガネツツジ					●	●	●	●		6
		アセビ		●	●	○	●	●	●	●	●	22
		ホンシャクナゲ					●	●		●		5
		ミツバツツジ		●	●		●	●	●			5
		レンゲツツジ							●	●		4
		ヒカゲツツジ		●	●		●	●				10
		モチツツジ		●	●	○	●	●	●	●		13
		ヤマツツジ		●	●	○	●	●	●	●	●	9
		アカヤシオ					●	●				1
		コバノミツバツツジ		●	●	○	●	●	●	●	●	12
		バイカツツジ			●		●	●	●	●		6
		ミヤコツツジ			●			●				0
		トウゴクミツバツツジ		●			●	●				0
		シャシャンボ		●	●		●	●				4
		ウスノキ		●	●		●	●	●	●	●	10
		アケシバ		●	●							3
		ナツハゼ		●	●		●	●	●	●	●	7
		サツキ (イワツツジ)		●	●		●	●		●		2
		スノキ		●	●	○	●	●		●	●	7
		カンサイスノキ							●			1
	ヤブコウジ科	マンリョウ		●	●	○	●	●	●			9
		カラタチバナ		●	●				●			10
		ヤブコウジ		●	●	○	●	●	●		●	9
	サクラソウ科	ギンレイカ		●				●				1
		オカトラノオ		●	●		●	●	●	●	●	15
		ヌマトラノオ		●	●		●	●	●			4
	カキノキ科	コナスビ		●	●	○	●	●	●	●	●	12
		カキノキ		●	●	○		●	●	●		3
		マメガキ			●							0
	エゴノキ科	オオバアサガラ						●				0
		エゴノキ		●	●	●	●	●	●	●		18
		コハクウンボク								●		1
	ハイノキ科	サワフタギ		●	●		●		●	●	●	11
		タンナサワフタギ		●			●	●		●		3
		クロミノニシゴリ		●	●				●			7
		クロバイ		●								1
	モクセイ科	ヒトツバタゴ			●							0
		アオダモ					●	●				1
		マルバアオダモ		●	●		●		●	●	●	12
		ネズミモチ		●	●	○	●					3
		イボタノキ		●	●	○	●	●	●		●	10
		ヒイラギ		●	●			●				3
	マチン科	アイナエ			●							0
	リンドウ科	リンドウ		●	●		●	●			●	9
		ハルリンドウ			●					●		2
		エゾリンドウ							●			2
		フデリンドウ		●				●	●			2
		アケボノソウ		●			●	●	●	●	●	10

2. 動植物

種子植物 (11/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 合弁花類	リンドウ科	イヌセンブリ		●								1
		センブリ		●	●		●	●		●		7
		ツルリンドウ		●	●		●	●	●	●	●	17
	ミツガシワ科	アサザ				●						1
	キョウチクトウ科	テイカカズラ		●	●	○	●	●	●	●		17
	ガガイモ科	イケマ					●					0
		タチカモメヅル					●					0
		スズサイコ		●								3
		コバノカモメヅル		●	●				●			5
		コイケマ		●	●							3
		キジョラン					●	●	●			3
		ガガイモ		●	●							2
		オオカモメヅル		●								2
		コカモメヅル			●		●	●				1
	アカネ科	アリドオシ						●				0
		オオフタバムグラ	※		●							0
		メリケンムグラ	※	○								0
		ヒメヨツバムグラ		●	●							4
		キクムグラ			●							0
		ヤマムグラ		●	●	○		●			●	3
		ヤエムグラ		●	●		●	●	●			6
		ヨツバムグラ		●			●	●		●		3
		ホソバノヨツバムグラ		●	●				●			3
		カワラマツバ		●	●		●					2
		クちなシ		●	●		●					2
		フタバムグラ		●	●		●					3
		オオハシカグサ			●							0
		ハシカグサ		●	●		●	●	●	●	●	10
		ツルアリドオシ		●	●	○	●	●				5
		ヘクソカズラ		●	●	○	●	●	●	●	●	9
		シロバナイナモリソウ		●								0
		アカネ		●	●		●	●			●	5
	ヒルガオ科	コヒルガオ		●	●	○						1
		ヒルガオ		●	●	○	●					1
		ネナシカズラ		●	●		●	●				1
		アメリカネナシカズラ	※	●	●		●				●	5
		アメリカアサガオ	※		●							0
		マルバアメリカアサガオ	※	●								1
		マメアサガオ	※	●	●	○	●					2
		ホシアサガオ	※	○	○	○	●					0
		マルバルコウ	※	●	●	○	●	●				2
		ルコウソウ	※						●			1
	ムラサキ科	ハナイバナ		●	●		●		●			4
		ホタルカズラ		●			●					2
		ヤマハリソウ		●			●	●				2
		ミズタビラコ		●	●		●	●				6
		キュウリグサ		●	●		●		●			2
	クマツヅラ科	コムラサキ		●	●							2
		ムラサキシキブ		●	●	○	●	●	●	●		14
		ヤブムラサキ		●	●	○	●	●	●	●		8
		カリガネソウ					●	●				0
		クサギ		●	●	○	●	●		●		11
		ヒメイワダレソウ	※				●					2
		ヤナギハナガサ	※		●							0
		アレチハナガサ	※	●	●		●					3
		シュコンバーベナ	※	●								1
		ヒメビジョザクラ	※		●							0
	アワゴケ科	ミズハコベ		●	●							1
	シソ科	キランソウ		●	●		●	●	●	●		6
		ジュウニヒトエ			●							0
		ニシキゴロモ		●	●	●		●		●		1
		クルマバナ						●		●	●	1
		トウバナ		●	●	○	●	●		●	●	2
		イヌトウバナ		●			●	●	●		●	4
		ヤマトウバナ					●	●		●		0
		ナギナタコウジュ			●		●	●			●	2
		カキドオシ		●	●	○	●	●	●		●	8
		オドリコソウ		●	●							1
		ホトケノザ			●		●	●	●			3
		ヤマジョウ						●				0
		ヒメオドリコソウ	※		●		●					1
		テンニンソウ						●				0

種子植物 (12/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 合弁花類	シソ科	ミカエリソウ					●	●		●		5
		シロネ						●				0
		ヒメシロネ			●							0
		コシロネ		●	●						●	1
		ラショウモンカズラ						●				0
		ヒメジソ		●	●	○	●	●		●	●	3
		シラゲヒメジソ		●								0
		イヌコウジュ		●	●		●	●			●	2
		レモンエゴマ									●	1
		シソ			●							0
		ハナトラノオ	※		●		○					0
		ウツボグサ		●	●		●	●	●	●		5
		セキヤノアキチョウジ									●	1
		ヤマハッカ		●	●		●	●				1
		ヒキオコシ		●				●				1
		アキチョウジ		●	●		●	●				3
		カメバヒキオコシ									●	1
		アキノタムラソウ		●	●		●	●	●	●		5
		キバナアキギリ		●			●	●	●	●		3
		ミゾコウジュ		●	●		●					5
		オカタツナミソウ		●								1
		タツナミソウ		●			●		●			2
		シソバタツナミソウ			●		●	●		●		3
		ヤマタツナミソウ								●		0
		ミヤマナミキ						●				0
		ニガクサ					●					0
		ツルニガクサ		●	●			●				0
	ナス科	クコ		●	●		●					2
		ツクバネアサガオ	※		●							0
		イガホオズキ		●				●				1
		ホオズキ		●	●							1
		センナリホオズキ	※		●							0
		アメリカイヌホオズキ	※	●	●	○	●		●		●	3
		ワルナスビ	※	●	●	○	●					5
		ヤマホロシ					●	●				0
		ヒヨドリジョウゴ		●	●		●	●				8
		マルバノホロシ		●								5
		オオイヌホオズキ	※	●								5
		イヌホオズキ		●	●		●	●				3
		タマサンゴ	※		●							0
		ハダカホオズキ		●								3
	フジウツギ科	フジウツギ						●				0
	ゴマノハグサ科	ヒサウチソウ	※	●								2
		サワトウガラシ		●	●			●				2
		アブノメ		●	●			●				6
		シソクサ		●					●			1
		キクモ		●	●							2
		ヒメキンギョソウ	※		●							0
		マツバウンラン	※	●	●		●		●		●	4
		ヒメアメリカアゼナ	※								●	1
		アゼトウガラシ		●	●						●	5
		スズメノトウガラシ		●	●			●			●	1
		ヒロハスズメノトウガラシ		●								4
		ウリクサ		●	●		●	●			●	3
		アメリカアゼナ	※	●	●			●			●	3
		アゼナ		●	●		●	●				3
		サギゴケ		●	●		●	●	●			7
		トキワハゼ		●	●						●	4
		シコクママコナ		●	●							2
		ミヤマママコナ		●			●	●				3
		ママコナ		●								4
		クチナシグサ		●	●	●	●					4
		コシオガマ		●			●					5
		オオヒナノウスツボ		●								1
		オオヒキヨモギ						●				0
		ビロードモウズイカ	※				●	●				2
		オオカワヂシャ	※	●								1
		タチイヌノフグリ	※	●	●		●	●	●		●	5
		クワガタソウ						●				0
		ムシクサ		●	●		●					3
		オオイヌノフグリ	※	●	●	○	●	●	●			9
		イヌノフグリ		●						●		2

2. 動植物

種子植物 (13/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 合弁花類	ノウゼンカズラ科	ノウゼンカズラ	※					●				0
		キササゲ	※	●	●			●				1
		キリ		●	●	○	●	●				4
	キツネノマゴ科	キツネノマゴ		●	●	●	●	●				5
		ハグロソウ		●								3
	イワタバコ科	イワタバコ		●			●	●	●		●	8
		ナンバンギセル					●					1
	ヤセウツボ	ヤセウツボ	※	●								1
		ミミカキグサ		●				●				1
	タヌキモ科	ホザキノミミカキグサ		●	●			●				2
		オオバナイトタヌキモ	※	●								0
		イヌタヌキモ				●						1
	ハエドクソウ科	ナガバハエドクソウ		●								3
		ハエドクソウ		●	●	○		●				0
	オオバコ科	オオバコ		●	●	○	●	●	●	●		10
		ヘラオオバコ	※	●	●		●					3
		ツボミオオバコ	※	●	●		●					3
	スイカズラ科	コツクバネウツギ		●	●		●	●		●	●	8
		ツクバネウツギ		●	●		●	●			●	3
		オオツクバネウツギ		●								1
		ヤマウグイスカグラ		●								4
		ウグイスカグラ		●			●			●		4
		スイカズラ		●	●	○	●	●	●		●	10
		ヒョウタンボク					●					1
		ニワトコ		●			●	●			●	3
		ガマズミ		●	●		●	●		●	●	13
		コバノガマズミ		●	●	○	●	●	●	●	●	17
		オオカメノキ					●	●	●	●	●	3
		オトコヨウソメ						●	●			2
		ヤブデマリ		●		●	●	●	●	●	●	7
		ゴマキ			●							0
		ミヤマガマズミ		●	●		●	●	●	●	●	9
		ハコネウツギ								●		2
		ニシキウツギ					●					0
		タニウツギ		●	●		●	●	●	●	●	12
	レンブクソウ科	レンブクソウ		●								1
	オミナエシ科	オミナエシ		●	●		●	●			●	5
		オトコエシ		●			●	●	●		●	9
		ノヂシャ	※		●							0
	マツムシソウ科	マツムシソウ							●			1
	キキョウ科	ツリガネニンジン		●	●	○	●	●	●	●	●	16
		ツルニンジン		●		●	●	●	●	●	●	9
		シブカワニンジン			●							0
		ミゾカクシ		●	●		●	●				2
		サワギキョウ			●				●	●	●	3
		タニギキョウ		●	●	●	●	●	●	●		7
		キキョウ		●					●			2
		キキョウソウ	※	●	●		●					4
	キク科	セイヨウノコギリソウ	※	●	●							1
		ノブキ						●	●			5
		ヌマダイコン		●								1
		オクモミジハグマ						●		●		1
		キッコウハグマ		●	●			●				3
		ブタクサ	※	●	●		●					2
		オオブタクサ	※	●	●							0
		ホソバノヤマハハコ						●		●	●	11
		カワラハハコ		●	●							2
		イワヨモギ		●								2
		オトコヨモギ			●							0
		ヨモギ		●	●	○	●	●	●		●	10
		イナカギク					●	●		●	●	2
		ホソバコンギク		●								3
		シロヨメナ		●			●	●	●			6
		センボンギク			●							0
		ノコンギク		●	●	○	●	●			●	8
		キダチコンギク	※	●	●	○	●					5
		サワシロギク		●	●							2
		シラヤマギク		●	●		●	●			●	6
		ヒロハホウキギク	※	●	●							3
		ホウキギク	※		●		●					0
		コバノセンダングサ						●				0
		センダングサ		●	●		●	●				1
		アメリカセンダングサ	※	●	●	●	●	●	●			6

種子植物 (14/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 合弁花類	キク科	コセンダングサ	※	●	●	○	●	●				2
		コシロノセンダングサ	※	●	●							5
		タウコギ		●								1
		モミジガサ						●				0
		ウスゲタマブキ						●				0
		ヤブタバコ		●	●		●	●	●			5
		コヤブタバコ			●							0
		ガンクビソウ		●	●		●	●	●	●		9
		ホソバガンクビソウ		●								0
		サジガンクビソウ					●		●			1
		ヤグルマギク	※	●	●							1
		トキンソウ		●	●	○		●			●	4
		イブキアザミ		●								1
		ヒダアザミ						●	●	●		1
		ノアザミ		●	●	○	●	●	●	●	●	10
		アズマヤマアザミ					●					0
		ナンブアザミ									●	2
		ノハラアザミ					●					1
		キセルアザミ		●	●			●	●	●		7
		スズカアザミ		●	●		●	●				8
		オオアレチノギク	※	●	●		●	●	●	●	●	6
		オオキンケイギク	※	●	●		●					5
		ハルシヤギク	※		●							0
		コスモス	※			○			●			2
		ベニバナボロギク	※	●	●	○	●	●			●	5
		キクタニギク	※	●								1
		リュウノウギク		●								3
		ノジギク					●					1
		ムラサキバレンギク	※	●								1
		アメリカカサプロウ	※	●	○	○					●	1
		タカサプロウ		●	●		●	●				2
		ダンドボロギク	※	●	●		●	●		●	●	5
		ヒメムカシヨモギ	※	●	●	○	●	●				3
		ハルジオン	※	●	●	○	●	●	●		●	6
		ヤナギバヒメジョオン	※	●								1
		ヒヨドリバナ		●	●	○	●	●	●	●	●	8
		ヨツバヒヨドリ								●		0
		フジバカマ			●							0
		サワヒヨドリ		●	●		●					6
		キヌゲチチコグサ	※	●								1
		ハキダメギク	※	●	●							3
		ハハコグサ		●	●		●	●	●			4
		タチチチコグサ	※									0
		チチコグサ		●	●	○	●	●		●		2
		チチコグサモドキ	※	●	●	○	●					2
		ウスベニチチコグサ	※	●	●							2
		ウラジロチチコグサ	※	●				●				1
		イヌキクイモ	※	●								0
		キクイモ	※	●	●		●					3
		キツネアザミ		●	●		●	●			●	3
		ヒメアタナ	※	●								1
		ブタナ	※	●	●				●	●		9
		オグルマ		●			●					4
		オオジシバリ		●	●	○	●	●	●			3
		ニガナ		●	●	○	●	●	●	●	●	14
		ハナニガナ		●	●							2
		ドロニガナ					●	●				2
		ノニガナ		●	●		●	●				2
		イワニガナ		●	●			●			●	4
		カワラニガナ					●					0
		ユウガギク		●	●			●				2
		ヨメナ		●	●	○	●			●	●	3
		アキノノゲシ		●	●	○	●	●			●	4
		ホソバアキノノゲシ		●			●				●	3
		ヤマニガナ		●	●		●	●		●		2
		トゲチシャ	※		●							0
		ムラサキニガナ		●	●			●	●			7
		コオニタビラコ		●	●		●	●				5
		ヤブタビラコ		●	●							2
		センボンヤリ		●							●	2
		フランスギク	※	●	●				●		●	3
		ミヤマヨメナ					●	●	●		●	3
		ナガバノコウヤボウキ			●		●	●			●	1

2. 動植物

種子植物 (15/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 双子葉植物 合弁花類	キク科	クルマバハグマ			●			●		●		0
		カシワバハグマ		●	●							1
		コウヤボウキ		●	●	○	●	●		●		9
		フキ		●	●	●	●	●	●	●	●	18
		コウゾリナ		●	●		●	●	●		●	8
		フクオウソウ			●			●	●			1
		シュウブソウ		●	●		●	●	●		●	7
		オオハongoソウ	※	●		●						4
		キヌガサギク	※		●							0
		オカオグルマ							●			2
		サワギク		●				●		●		2
		サワオグルマ		●	●	●						7
		ノボロギク	※		●		●					1
		タムラソウ					●	●				3
		コメナモミ		●	●		●	●			●	4
		メナモミ		●			●	●	●			5
		セイタカアワダチソウ	※	●	●	○	●	●	●	○	○	9
		オオアワダチソウ	※	●	●				●			4
		アキノキリンソウ		●	●	○	●	●	●	●	●	13
		アオヤギバナ			●		●	●				5
		オニノゲシ	※	●	●		●	●	●			3
		ノゲシ		●	●		●		●			5
		ヒメジョオン	※	●	●	○	●	●	●	●	●	11
		ヤマボクチ		●								4
		オヤマボクチ		●			●	●			●	2
		シロバナタンポポ		●	●		●					4
		セイタカタタンポポ		●	●	●					●	10
		アカミタンポポ	※	●	●		●					0
		セイヨウタンポポ	※	●	●	○	●	●	●			4
		カラクサシュンギク	※				●					1
		オオオナモミ	※	●	●			●	●			3
		オナモミ		●								0
		ヤクシソウ		●	●		●	●	●			3
		オニタビラコ		●	●		●	●	●	●	●	9
被子植物 単子葉植物	オモダカ科	ヘラオモダカ		●	●						○	1
		アギナシ			●		●		○			1
		ウリカワ		●	●			●				2
		オモダカ		●					●			2
	トチカガミ科	スプタ						●				0
		ヤナギスプタ		●								2
		オオカナダモ	※	●		○	●					1
		コカナダモ	※	●	●	○						0
		ミズオオバコ		●								2
		セキシウモ			●							0
	ヒルムシロ科	ヒルムシロ		●	●	●			●			4
		フトヒルムシロ		●		●			●	●		4
		ホソバミズヒキモ		●	●	●						4
		ヤナギモ				●						1
		イトモ		●		●						2
	イバラモ科	ホッスモ		●					●			1
	ユリ科	ソクシンラン					●					0
		ノビル			●	○	●	●	●			3
		ニラ	※	●	●	○						2
		キイトラッキョウ		●	●		●	●				7
		アマナ		●				●				2
		オランダギザカシ	※		●							0
		ハラン		●				●				1
		ウバユリ		●	●		●	●	●			5
		シライトソウ		●	●		●	●				8
		ホウチャクソウ		●	●		●	●		●		12
		チゴユリ		●	●		●	●	●	●	●	15
		カタクリ		●	●		●	●	●	●		6
		ミノコバイモ						●				1
		ショウジョウバカマ		●	●	●	●	●	●	●	●	30
		ユウスゲ							●			2
		ヤブカンソウ		●	●		●	●	●			6
		ノカンゾウ			●			●	●			2
		キヨスミギボウシ			●							0
		イワギボウシ		●	●		●	●				5
		ミズギボウシ		●	●				●	●		5
		オオハギボウシ				○	○	○				
		トウギボウシ					●	●	●			3
		コバギボウシ			●	○		●	●	●	●	4

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 単子葉植物	ユリ科	ヤマユリ		●					●			17
		ササユリ		●	●		●	●	●	●	●	14
		オニユリ			●							0
		タカサゴユリ	※	●	●	○	●					2
		ヒメヤブラン		●	●			●				1
		ヤブラン		●	●	○	●	●	●			6
		ノギラン		●	●	○	●	●	●	●	●	11
		ジャノヒゲ		●	●	○	●	●				2
		ナガバジャノヒゲ		●	●	○		●				2
		オオバジャノヒゲ						●				0
		ツクバネソウ								●		1
		サクラソウ									●	1
		ナルコユリ			●		●	●		●		3
		ミヤマナルコユリ			●							0
		アマドコロ		●	●							5
		キチジョウソウ			●							0
		オモト			●			●	●			2
		ツルボ		●	●		●	●			●	6
		ユキザサ								●		1
		サルメ		●	●		●	●		●	●	6
		サルトリイバラ		●	●	○	●	●	●	●		21
		タチシオデ						●				0
		シオデ		●	●		●	●			●	2
		ヤマカシュウ					●					1
		ヤマジノホトトギス		●	●		●	●		●	●	8
		ヤマホトトギス					●		●			2
		ヒロハノアマナ						●		○		1
		バイケイソウ							●	●		2
		ミカワバイケイソウ				●						0
	ヒガンバナ科	ヒガンバナ		●	●	●	●	●				6
		キツネノカミソリ					●	●				1
	ヤマノイモ科	ニガカシュウ			●							0
		タチドコロ		●	●		●	●	●	●		4
		ヤマノイモ		●	●	●	●	●	●	●		9
		オニドコロ		●	●	○	●	●	●		●	13
	ミズアオイ科	ホテイアオイ	※	●			●					2
		コナギ		●	●		●	●	●			4
	アヤメ科	ヒオウギ		●		●	●					6
		ヒメシャガ								●		1
		シャガ		●	●		●	●	●			5
		キシウブ	※	●	●	●	●	●	●			6
		オオニワゼキショウ	※	●	●							3
		ニワゼキショウ	※	●	●		●	●			●	4
		ヒメヒオウギズイセン	※	●	●			●	●			2
	イグサ科	ハナビゼキショウ			●							0
		イグサ		●	●		●	●	●	●	●	5
		コウガイゼキショウ		●	●			●		●		2
		アオコウガイゼキショウ		●	●							1
		クサイ		●	●	○	●	●				2
		ハリコウガイゼキショウ			●			●				0
		スズメノヤリ		●	●		●	●	●		●	5
		ヤマスズメノヒエ		●	●		●	●	●			7
		ヌカボシソウ			●			●				0
	ツユクサ科	ツユクサ		●	●	●	●	●	●		●	8
		イボクサ		●	●	○		●	●			2
		ヤブミョウガ			●	○	●		●			2
		ムラサキツユクサ	※		●		●					1
	ホシクサ科	ホシクサ		●	●							5
		イトイヌノヒゲ		●	●			●		●		1
		ニッポンイヌノヒゲ		●	●							3
		イヌノヒゲ			●							0
		ヒロハイヌノヒゲ		●	●			●			●	2
		シロイヌノヒゲ									●	1
	イネ科	アオカモジグサ		●	●			●				2
		カモジグサ		●	●	○	●	●	●			4
		エゾカモジグサ						●				1
		コヌカグサ	※		●					●		0
		ヒメヌカボ								●		1
		ヤマヌカボ		●								3
		ヌカボ		●	●	○		●	●			3
		バケヌカボ		●								1
		ヒメコヌカグサ		●	●							2
		ヌカススキ			●							0

2. 動植物

種子植物 (17/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 単子葉植物	イネ科	ハナヌカススキ	※								●	1
		スズメノテッポウ		●	●		●	●	●			3
		セトガヤ		●	●							0
		メリケンカルカヤ	※	●	●	○	●	●	●	●		10
		ハルガヤ	※	●	●			●			●	3
		コブナグサ		●	●	○	●	●		●		8
		トダシバ		●		○		●		●	●	8
		ケトダシバ		●	●			●		●	●	2
		カラスムギ	※	●	●							3
		カズノコグサ		●	●							2
		ヤマカモジグサ		●	●			●				1
		コバンソウ	※	●	●							1
		ヒメコバンソウ	※	●	●							1
		イヌムギ	※	●	●	○						1
		スズメノチャヒキ		●	●							3
		キツネガヤ		●	●			●	●			3
		ノガリヤス		●	●	○	●	●			●	4
		ヤマアワ			●							0
		チョウセンガリヤス	※	●								3
		ジュズダマ		●	●		●					3
		オガルカヤ		●	●			●				4
		ギョウギシバ		●	●	○						1
		カモガヤ	※	●	●					●	●	2
		メヒシバ		●	●		●	●	●	●	●	11
		コメヒシバ		●	●							0
		アキメヒシバ		●	●		●	●				2
		アブラススキ		●	●	○	●	●	●		●	7
		イヌビエ		●	●		●					2
		ケイヌビエ		●	●							1
		ヒメタイヌビエ		●								1
		ヒメイヌビエ		●		○						0
		タイヌビエ		●	●	○					●	4
		オヒシバ		●	●	○	●	●				4
		シナダレスズメガヤ	※	●	●	○	●	●			●	1
		カゼクサ		●	●	○	●	●				1
		ニツホコリ		●	●			●				3
		オオニツホコリ			●							1
		コスズメガヤ		●	●			●				1
		ナルコビエ		●	●							3
		ウンヌケモドキ		●								0
		オニウシノケグサ	※	●	●			●			●	2
		ウシノケグサ		●				●		●		1
		アオウシノケグサ		●								1
		トボシガラ		●	●			●				3
		オオウシノケグサ	※	●	●							1
		ムツオレグサ		●	●							5
		ドジョウツナギ		●	●		●	●				3
		ウシノシッペイ		●	●							3
		シラゲガヤ	※	●	●				●			3
		ニセシラゲガヤ	※	●								1
		チガヤ		●	●	○	●	●	●			5
		チゴザサ		●	●	○			●	●		4
		ハイチゴザサ		●	●		●	●				3
		タイワンカモノハシ			●							0
		アシカキ		●								1
		エゾノサヤヌカグサ			●							0
		サヤヌカグサ		●			●					3
		アゼガヤ		●	●	○						2
		ネズミムギ	※	●	●	○						0
		ホソムギ	※		●							0
		ネズミホソムギ	※	●								1
		ササクサ		●	●	○	●	●	●	●		7
		トウササクサ		●				●				0
		コメガヤ		○				●				0
		ササガヤ		●	●		●	●			●	3
		アシボソ		●	●	○	●	●	●			5
		ヒメアシボソ		●						●	●	3
		オギ		●	●		●					4
		ススキ		●	●	●	●	●	●	●	●	13
		カリヤス					●	●			●	1
		ヌマガヤ		●	●				●			3
		ネズミガヤ		●	●			●		●		2
		オオネズミガヤ						●				0

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 単子葉植物	イネ科	ケチヂミザサ		●	●			●				3
		コチヂミザサ		●	●	○	●	●	●	●	●	9
		ヌカキビ		●	●	○	●	●			●	4
		ハナクサキビ	※		●							0
		オオクサキビ	※	●	●			●				1
		シマスズメノヒエ	※	●	●	○	●	●				1
		アメリカスズメノヒエ	※	●								2
		スズメノヒエ		●	●	○	●	●		●		3
		タチスズメノヒエ	※	●	●	○						1
		チカラシバ		●	●	○	●	●	●		●	7
		クサヨシ		●	●	○	●		●			3
		オオアワガエリ	※	●	●							1
		ヨシ		●	●	○	●					2
		ツルヨシ		●	●			●	●			4
		マダケ		●	●	○		●	●			3
		ハチク	※	●		○		●				0
		モウソウチク	※	●	●	○		●	●			2
		ネザサ		●	●	○	●	●	●			3
		コンゴウダケ			●							0
		メダケ		●	●	○	●	●				2
		ミゾイチゴツナギ		●	●			●				6
		スズメノカタビラ		●	●		●	●			●	2
		ヤマミゾイチゴツナギ			●							0
		オオイチゴツナギ		●	●			●				2
		ヌマイチゴツナギ		●				●				1
		ナガハグサ	※	●	●						●	3
		イチゴツナギ		●	●							2
		オオスズメノカタビラ		●								1
		ヒエガエリ		●	●							2
		ヤダケ		●	●			●				1
		ハイヌメリ		●	●			●				2
		ヌメリグサ		●	●							1
		ニッコウザサ						●				0
		ミヤマクマザサ			●							0
		ミヤコザサ		●			○	●	●	●	●	6
		クマザサ			●							0
		アズマザサ						●				0
		スズタケ					●	●	●	●	○	5
		ナリヒラダケ						●				0
		アキノエノコログサ		●	●	○	●	●	●			3
		コツブキンエノコロ		●	●	○	●					4
		キンエノコロ		●	●	○	●	●			●	2
		エノコログサ		●		○	●	●			●	5
		ムラサキエノコロ		●		○	●					1
		オカメザサ		●	●			●	●			2
		ヒメモロコシ	※	●		○						1
		セイバンモロコシ	※	●	●							1
		ネズミノオ		●	●			●				1
		メガルカヤ		●								3
		カニツリグサ		●	●			●	●		●	6
		ナギナタガヤ	※	●	●		●					3
		マコモ									●	1
		シバ			●			●				0
	ヤシ科	シュロ		●	●			●	●			3
	サトイモ科	ショウブ		●	●	●	●					2
		セキショウ		●	●		●	●	●			7
		ウラシマソウ		●	●							1
		スルガテンナンショウ		●	●		●	●	●			8
		トウゴクマムシグサ			●							0
		ミズバショウ									●	0
		カラスビシャク		●	●	○	●	●		○		1
		ヒメザゼンソウ				●						0
	ウキクサ科	アオウキクサ		●	●	○		●				1
		ウキクサ		●				●				1
	ミクリ科	ナガエミクリ		●		●						4
	ガマ科	ヒメガマ		●	●							1
		ガマ		●	●	○	●	●				2
		コガマ			●		●					0
	カヤツリグサ科	ハタガヤ		●	●							1
		イトハナビテンツキ			●							0
		エナシヒゴクサ		●	●							0
		クロカワズスゲ			●			●				0
		マツバスゲ		●	●							4

2. 動植物

種子植物 (19/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
被子植物 単子葉植物	カヤツリグサ科	ショウジョウスゲ		●				●				3
		ツクバスゲ		●	●			●				2
		アオスゲ		●	●			●	●		●	6
		メアゼスゲ									●	1
		メアオスゲ		●								4
		ケタガネソウ			●							1
		ハリガネスゲ						●				0
		ヌマアゼスゲ			●							0
		ヤマオオイトスゲ		●								1
		ミヤマシラスゲ		●	●			●	●	●	●	6
		ヒメカンスゲ		●	●		●	●	●			7
		ナルコスゲ		●	●		●	●				3
		オニスゲ		●	●				●			3
		カサスゲ		●	●		●			●		1
		コミヤマカンスゲ		●	●			●				3
		シラスゲ		●	●		●		●			6
		ビロードスゲ						●				0
		イトスゲ						●				0
		オクノカンスゲ		●			●	●			●	2
		タニガワスゲ		●				●			●	6
		マスキサ		●	●			●				2
		ヒナスゲ		●	●			●				2
		サヤマスゲ						●				0
		ツルナシコアゼガヤツリ		●								2
		ヤマアゼスゲ		●	●							5
		ホカリヒゴクサ						●				0
		アイズスゲ			●							0
		カワラスゲ		●				●	●			3
		アオバスゲ			●							0
		ジュズスゲ		●	●			●				2
		ヒゴクサ		●				●	●	●	●	3
		テキリスゲ			●		●	●				0
		ヒカゲスゲ		●	●			●				4
		ナキリスゲ		●	●		●	●				4
		オオアオスゲ		●	●			●				5
		ヤガミスゲ			●							0
		タチスゲ		●	●			●				3
		ゴウソ		●	●		●	●	●		●	8
		ホシナシゴウソ			●							0
		サワヒメスゲ		●	●			●				2
		ヌカスゲ					●					0
		ノゲヌカスゲ						●				0
		ヒメシラスゲ		●	●			●				3
		カンスゲ					●					1
		ホソバカンスゲ					●					0
		ミヤマカンスゲ					●					0
		シバスゲ		●								1
		コジュズスゲ		●				●				3
		キンキカサスゲ		●								2
		ヒメゴウソ		●	●			●	●			2
		タカネマスキサ		●				●				3
		コカンスゲ						●				0
		シラコスゲ		●	●							2
		クサスゲ		●	●			●	●			8
		サトヤマハリスゲ							●			2
		オオイトスゲ						●				0
		アズマナルコ		●				●				2
		タガネソウ		●	●		●	●	●	●		6
		ニシノホンモンジスゲ		●				●				1
		アゼスゲ		●				●	●		●	5
		ヤワラスゲ		●	●						●	5
		モエギスゲ		●	●							2
		コップモエギスゲ		●								1
		チャガヤツリ		●	●			●				1
		アイダケ		●	●							2
		ヒメクゲ		●		○	●	●			●	3
		クダガヤツリ			●							0
		タマガヤツリ		●	●			●				4
		メリケンガヤツリ	※	●	●							2
		ヒナガヤツリ		●	●			●				4
		アゼガヤツリ		●	●		●					5
		コアゼガヤツリ		●	●							1
		コゴメガヤツリ		●	●	○	●	●				4

種子植物 (20/20)

分 類	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数		
被子植物 単子葉植物	カヤツリグサ科	カヤツリグサ		●	●	○	●				●	6		
		ウシクグ		●	●		●	●				3		
		オニガヤツリ		●								2		
		ハマスゲ		●	●							2		
		カワラスガナ		●	●			●				2		
		ナンゴクカワラスガナ		●								1		
		ミズガヤツリ			●							0		
		ヒメガヤツリ		○	●		●	●						
		マツバイ		●	●								1	
		ハリイ		●	●				●		●	5		
		オオハリイ		●	●							2		
		エゾハリイ									●	1		
		クログワイ			●	○						0		
		シカクイ		●	●				●	●		4		
		コアゼテンツキ			●							0		
		ヒメヒラテンツキ		●	●			●				5		
		ノテンツキ			●							0		
		テンツキ		●	●		●					4		
		クロテンツキ		●	●							3		
		ヒデリコ		●	●		●	●				7		
		メアゼテンツキ		●								1		
		ヤマイ		●	●							1		
		ヒンジガヤツリ		●	●			●				2		
		ミカヅキグサ										●	0	
		ウキヤガラ			●								0	
		コマツカサススキ			●								0	
		ホタルイ		●	●		●	●	●				5	
		イヌホタルイ		●	●								5	
		ヒメホタルイ		●									1	
		マツカサススキ			●								1	
		シズイ			●								0	
		フトイ		●				●					1	
		カンガレイ		●	●								2	
		サンカクイ		●	●	○							3	
		タイワンヤマイ			●								0	
		アイバソウ		●									0	
		アブラガヤ		●	●	○	●	●	●	●			6	
		ショウガ科	ミョウガ		●	●	○	●	●	●			1	
		ラン科	イワチドリ					●						2
			シラン	※	●			●						2
			マメヅタラン		●	●			●					5
			ムギラン					●	●					1
			エビネ		●			●						2
			ギンラン		●			●						2
			キンラン		●	●		●		●	●			7
			サイハイラン		●									0
			シュンラン		●	●		●	●	●	●	●		15
			クマガイソウ							●				1
			イチヨウラン							●	●			2
			セッコク		●	●		●	●	●				15
			カキラン		●					●	●	●		4
			ツチアケビ						●	●	●	●		4
			アケボノシュスラン			●			●					0
			ミヤマウズラ		●	●		●	●					5
			サギソウ			●						●		2
			ジガバチソウ		●	●		●	●			●		5
	クモキリソウ			●	●		●	●	●	●	●		10	
	ヨウラクラン				●								0	
	オオバノトンボソウ				●			●	●	●	●		2	
	カヤラン			●				●	●	●	●	●	13	
	ネジバナ			●	●	●	●	●	●	●			10	
	クモラン			●									3	
	ヒトツボクロ									●			2	
	トンボソウ			●	●			●					4	
確認種数			1446	235	983	917	307	698	789	438	318	325		

種の分類および科の配列は環境庁『植物目録 1987』を参考にした。

●印は、標本があるもの、および観察会により確認され文書による報告のなされたもの。

○印は、生育の確認はされているが文書による報告がなされていないもの。

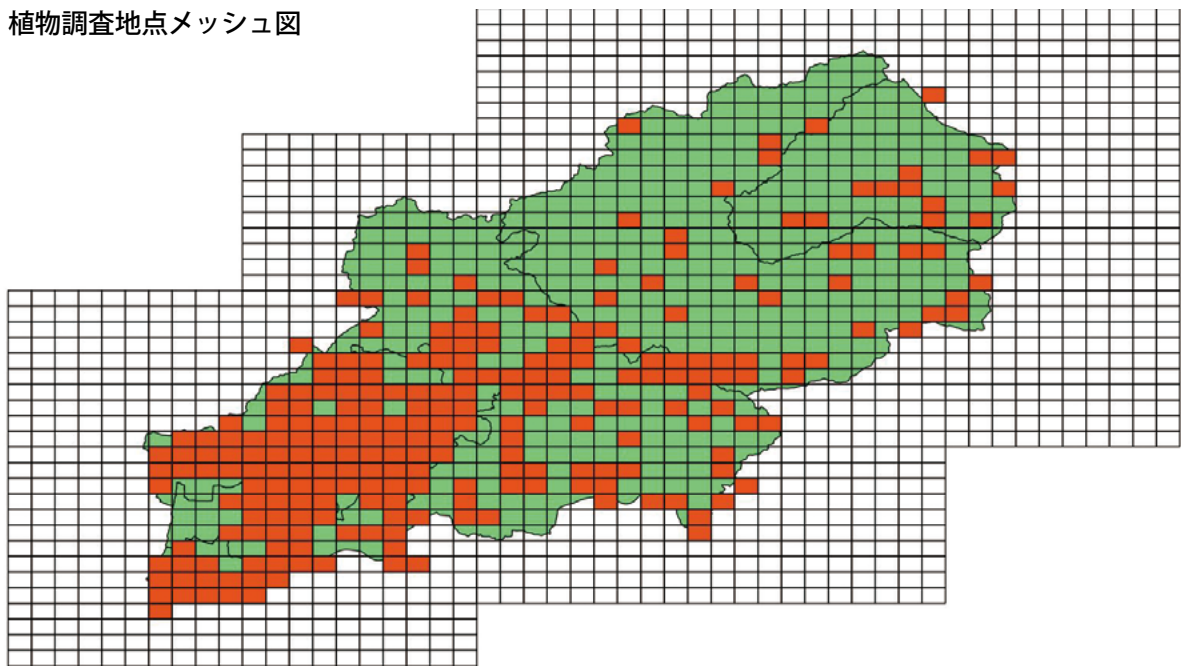
メッシュ数は加茂地区生物基礎調査データ（2018年8月入力分まで）にメッシュ No. が記載されているもののみ計数

種子植物の分類について

従来の植物分類体系はエングラーの体系で、私たちになじみ深い「日本の野生植物(1981～1989, 平凡社)」も双子葉、単子葉、合弁花、離弁花など形態的特徴からの分類であったが、近年は分子系統解析によるAPG(Angiosperm Phylogeny Group)分類が採用されるようになった。図鑑でも両方の分類が併記されるようになり、平凡社は2015年に「日本の野生植物」改訂版をAPGⅢ体系で出版している。APG体系の分類は幾たびかの改訂を経て定着しつつあるが、また一般に浸透していると言いがたいし、それに対応できる図鑑類も少ない。今回、国や県のレッドやブルーが旧分類のままであり、利用する対象から考え旧分類のままとした。次回の改訂版からはAPG体系の分類となるだろう。

	エングラーの体系	APG体系
(例) ムクノキ	ニレ科	アサ科

植物調査地点メッシュ図



引用文献

- 前川文夫(1977)日本の植物区系. 玉川大学出版部.
 宮脇 昭(編)(1977)日本の植生. 学習研究社.
 沼田 真・岩瀬 徹(1975)図説 日本の植生. 朝倉書店.
 植田邦彦(1989)東海丘陵要素の植物地理 I. 定義. Acta Phytotax.Geobot., 40:190-202.

参考文献

- 安藤志郎(1995)美濃加茂市の植物. 美濃加茂市教育委員会(編), pp13-17, 市民のための美濃加茂市の歴史. 美濃加茂市.
 安藤志郎・二村延夫(1993)第1章 植物. 七宗町教育委員会・七宗町史編纂委員会(編), pp41-53, 七宗町史 通史編. 七宗町.
 神奈川県植物誌調査会(編)(2018)神奈川県植物誌2018. 神奈川県植物誌調査会.
 村瀬正成・安藤志郎(2002)第3章 坂祝町の植物. 坂祝町教育委員会町史編纂事務局, pp63-139, 坂祝町史 自然編. 坂祝町.
 中西 哲・大場達之(1983)日本の植生図鑑〈I〉森林. 保育社.
 日本シデコブシを守る会(編)(1996)シデコブシの自生地. 日本シデコブシを守る会.
 鈴木貞雄(1978)日本竹科植物総目録. 学習研究社.

執筆：村瀬正成・安藤志郎・安江正和

(2) 哺乳類

① 哺乳類相

文献・資料と2015～2018年度に実施した現地調査から、美濃加茂市と加茂郡7町村で生息が確認できた哺乳類は、調査日数、調査の場所は少ないが、19科38種である。岐阜県内においては19科56種の生息が確認できている。県内の山岳地帯に生息する6種と森林の樹洞に生息するコウモリ類12種の合計18種を除くと、種数においても特に他地域と大きな差異はない。

特筆すべきことは、東白川村では、全村面積中の人工林率は、村有林の94.3%をトップに国有林で86.2%、私有林で59.6%で、全体では62.8%となっている（東白川村誌編纂委員会，1982）。この数値は県平均36%にくらべて非常に高くなっており、樹種は97%がヒノキとなっている。七宗町では、全町面積中の国有林が占める割合は17%で、そのうちの人工林の割合は86%、民有林で人工林は43%とされ、全体では50.8%と県平均より高い。ヒノキ・スギ林では、林内が暗くなり、林床は草本が少ないため、村の面積の割に哺乳動物が少ない。このことは、カメラを設置したが、動物が撮影できないことが多いことから推測できる。

この地域の神社仏閣の森では、樹木の伐採が控えられており、その大木の洞にムササビが多く生息していることが調査でわかっている（梶浦・安藤，1988）。しかし、その30年後、それらの木も大きくなり、枝枯れや倒木の危険が生じ、人的被害の恐れから多くの神社仏閣で伐採がなされてムササビの生息数がおよそ半減している。

当該地域は岐阜県のほぼ中央部から南端にあって、地形的には北東から南東に傾動している美濃高原の南西に位置し、山々は、高度が比較的そろって、なだらかな地形面を成し標高700～1,000mである。地質は、中古生層からなるチャート・砂岩・粘板岩、ところどころに石灰岩を含み、東部は花崗岩・濃飛流紋岩からなる隆起準平原である。こうしたチャート層にはマンガン採掘跡があり（七宗町教育委員会・七宗町史編纂委員会，1993；美濃加茂市，1980）、採掘後に放置されている廃坑跡や、八百津町上飯田と川辺町下川辺に太平洋戦争時に地下軍需工場を作るために掘られた洞穴跡において、コウモリの生息が確認できた。

ツキノワグマは、夏季のみ中津川市方面の木曾



図1 イノシシ(川辺町下麻生)



図2 林内のアライグマ(白川町赤河)



図3 コウモリの生息する採掘跡
(美濃加茂市伊深町牛牧)

国有林から移動しているようで、このことは初夏の目撃例と秋季に柿への被害例があることなどから推測できる。まれに、下呂市や郡上市方面から移動してくることもあり、美濃加茂市や川辺町に出没したことや（岐阜新聞2004年10月16日付、2010年9月29日付）、箱罠に誤捕獲されたことによって駆除されたことがある（2016年八百津町十日神楽）。



図4 カモシカ(美濃加茂市下米田)
(撮影 築樋 直見)

近年生息数が多くなり、生息域を広げている種としては、カモシカ、ニホンジカ、イノシシ、アライグマ、ハクビシンが顕著である。

この報告では、環境省の「自然環境保全基礎調査」(種の多様性調査)の趣旨にある(動物名は親しみやすい一般的な名称を用いた)に準じ、和名と学名は日本の哺乳類(阿部ほか, 1994)に準拠した。

②特徴的な哺乳類

美濃高原では、モグラ科の中で小型のアズマモグラが、やや大型のコウベモグラに生息域を追われていると推測できる。コウベモグラは平地の東白川村、七宗町、美濃加茂市、八百津町で標本を得て生息を確認している。アズマモグラは、八百津町杣沢で採集したフクロウのペリット内と、八百津町潮南での標本を確認し、さらに木曽川を挟んで御嵩町大久後でも標本を得ている(梶浦, 2008)。

30年前頃に、東白川村でわずかに生息が確認できていたカモシカは、現在坂祝町・富加町を除く美濃加茂市・加茂郡地域で生息が確認できた。生息域が広がり、個体数が増えている。特に八百津町から木曽川河畔を移動し、美濃加茂市内の飛騨川河畔まで生息を確認できている。カモシカとニホンジカは生息場所をすみわけているという説を聞くが、川辺町で1台の自動カメラに両者が撮影できたことから、昼間と夜間の時間的すみわけと空間的すみわけの事実が認められないのは明らかである。

モモジロコウモリについては、八百津町錦織の水路、トンネルに集団で繁殖していた。県内での生息場所も少なく、今後の調査と保護が必要である。



図5 モモジロコウモリ(八百津町錦織)

ホンドモモンガは、七宗町の広大な国有林で1980年代まで伐採が行われなかったことで、野生動物が残存してきたようであり、神湊小学校と同分郷地内で拾得された個体が標本にされたのを1993年に写真撮影している。白川町と七宗町では糞を採集したが、生態確認までには至っていない。

ヤマネについては、文献で記録があるが、標本や写真も残されてなく情報不足である。

カヤネズミは、河畔や湿地、草地に限られ、坂祝町・富加町・美濃加茂市・川辺町・七宗町とも各市町でわずか1～2ヶ所ぐらいしか確認できていない。こうした草地は、土地の値段が安価なため、工場の建設など開発の機会が多いことから、今後の保護対策が課題である。

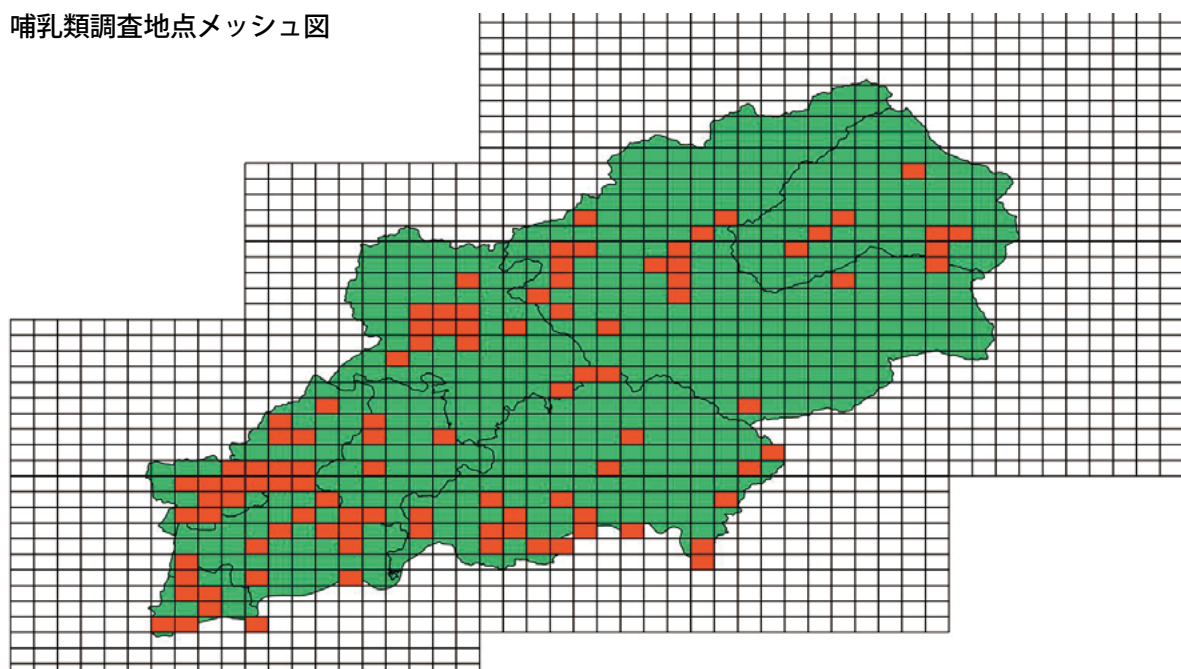
生物種目録 哺乳類

哺乳類 (1/1)

目名	科名	種名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
モグラ目	トガリネズミ科	ジネズミ		●		○		○	○	●	○	2
		カワネズミ		○			○	○	○	○	○	0
	モグラ科	アズマモグラ							○			0
		コウベモグラ		○		○	○	○	○	●	●	1
コウモリ目	キクガシラコウモリ科	ヒミズ		●	●	○		○	●	●	○	4
		キクガシラコウモリ		●	●	●	●	●	●			10
	ヒナコウモリ科	コキクガシラコウモリ		○			○	○	●			1
		アブラコウモリ		●	○	○	○			●	○	2
サル目	オナガザル科	モモジロコウモリ						○	●			1
ウサギ目	ウサギ科	ニホンザル (ホンダザル)		●	○	●	●	●	●	●	○	15
ネズミ目	リス科	ノウサギ		●	●	○	○	●	●	●	●	10
		ニホンリス		●			●	○	●	●	○	6
		モモンガ						●		●		2
	ヤマネ科	ムササビ		●		●	●	●	●	●	○	15
		ヤマネ						○		○		0
	ネズミ科	スミスネズミ						○	○	●		1
		ハタネズミ		●		○	○	○	○	○	○	1
		アカネズミ		●	●	●	●	○	○	●	●	12
		ヒメネズミ		○				○		○	●	1
		カヤネズミ		●	●	●	●	●	○	○		9
		ハツカネズミ		●		○	○	○		○	○	2
		クマネズミ		○		○	○	○		○	○	0
		ドブネズミ		○			○	○			○	0
	ヌートリア科	ヌートリア	※	●	●	●	●	●	○	○	○	8
ネコ目	クマ科	ツキノワグマ (ニホンツキノワグマ)		○			○	○	●	○	○	2
	アライグマ科	アライグマ	※	●	●	●	●	●	○	○	○	12
	イヌ科	タヌキ		●	●	●	●	●	●	●	●	28
		キツネ (アカギツネ)		●	●	○	●	○	●	●	●	8
	イタチ科	テン (ホンダテン)		●	●	●	●	○	●	●	●	11
		シベリアイタチ	※	●	○							1
		イタチ		○	●	●	○	○	●	○	○	6
		アナグマ		●	●	○	●	○	●	○	●	6
	ジャコウネコ科	ハクビシン	※	●	●	●	●	●	●	●	●	17
	ネコ科	ノネコ	※						●		○	1
鯨偶蹄目	イノシシ科	イノシシ (ニホンイノシシ)		●	●	●	●	○	●	○	●	15
	シカ科	ニホンジカ		●	●	○	●	●	●	●	●	10
	ウシ科	カモシカ		●		○	●	●	●	●	●	16
確認種数		37	5	31	18	24	27	33	29	30	28	

●は加茂地区生物基礎調査にデータあり
○は調査者の個人データ、文献、標本のみによるもの
メッシュ数は加茂地区生物基礎調査データにメッシュ No. が記載されているもののみ計数

哺乳類調査地点メッシュ図



引用文献

阿部 永（1994）日本の哺乳類．東海大学出版会．

七宗町教育委員会・七宗町史編纂委員会（編）（1993）七宗町史 通史編．七宗町．

東白川村誌編纂委員会（編）（1982）新修東白川村誌 通史編．東白川村．

梶浦敬一（2008）瑞浪市の哺乳類．瑞浪市野生生物研究会（編），pp59-76，瑞浪市の生き物たち ―瑞浪市生物調査報告書一．瑞浪市．

梶浦敬一・安藤志郎（1988）岐阜県加茂地区神社・社叢におけるムササビの生息状況と植生．岐阜県博物館調査研究報告，9：21-26．

美濃加茂市（1980）美濃加茂市史 通史編．美濃加茂市．

執筆：梶浦敬一

(3) 鳥類

① 鳥類相

加茂地域で記録した鳥類は、51科202種である。これは岐阜県内で記録がある315種の、約64%にあたる。

加茂地域南西部の農耕地、ため池、それにつながる低山と山あいの農耕地で形成される里山、北部に連なる山林地帯では、それぞれの環境に適応する様々な鳥類が生息している。

また、中央部を流れる飛騨川と南部を流れる木曽川及びその中小河川の流域には、水辺を好む鳥類が生息している。

一年を通して見られる留鳥は、アオサギ、イカル（図1）、ウグイス（図2）、エナガ（図3）、カイツブリ、カケス、カルガモ、カワウ（図4）、カワセミ（図5）、カワラヒワ、キジ（図6）、キジバト、キセキレイ、ケリ（図7）、コゲラ、シジュウカラ、スズメ、セグロセキレイ、ダイサギ、トビ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、ホオジロ、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラなどである。

南西部の開けた農耕地には、コチドリ（図8）、タマシギ、セツカなどが生息し、ため池には、カイツブリ、バンなどが生息している。いずれも繁殖地は局地的に限られた場所である。

低山には、オオタカ、サンコウチョウ、サンショウクイ、ミゾゴイ、ヤマドリなどが少数ではあるが生息している。オオタカは、近年姿を見る機会を増し

ているが、民家に近い場所でも繁殖することが関係しており、生息数は決して多くない。

農耕地や里山には、ウグイス、エナガ、カワラヒワ、キジ、キジバト、ケリ、ヒバリ、ヒヨドリ、ホオジロ、モズなどが生息している。



図1 イカル



図2 ウグイス



図3 エナガ



図4 カワウ



図5 カワセミ



図6 キジ



図7 ケリ



図8 コチドリ

2. 動植物

北部に連なる山林地帯には、少数ではあるが猛禽類と称するタカ科、フクロウ科のクマタカ、ハチクマ、サシバ、フクロウなどが生息しており、ミサゴは繁殖している可能性がある。いずれも生息数は少ないが、猛禽類は食物連鎖の頂点に位置しその生息地の自然が豊かなことを表している。

水辺を生息地とする鳥類では、ヤマセミ、カワセミ、カワガラスなどが生息している。アカショウビン、カワセミは山あいの小河川にも生息する。

夏季に飛来して繁殖する夏鳥の、オオルリ（図9）、キビタキ（図10）、オオヨシキリ、ツバメ、コシアカツバメなどは普通に見ることができる。

ため池や河川で越冬する冬鳥は、マガモ、コガモ、ヒドリガモ（図11）、キンクロハジロ、オシドリ、カワアイサなどのカモ類が多い。キンクロハジロは近年飛来数が増加している。カワアイサは山あいの小河川にも飛来する。マガンは数年に1度少数が飛来する。



図9 オオルリ



図10 キビタキ

農耕地や里山で越冬する冬鳥は、タゲリ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ベニマシコ（図12）、ウソ、カシラダカ、アオジなど種類数は多い。



図11 ヒドリガモ



図12 ベニマシコ

夜間に活動する、フクロウ、アオバズク、オオコノハズク、ヨタカなどは、少数が人里近くにも生息しているが、いずれも数は減少している。



図13 アマサギ



図14 ノスリ

春と秋の渡りの季節には、アマサギ（図13）、チュウサギ、ツツドリ、センダイムシクイ、

コムドリなどが渡っていく。シギ、チドリ類は農耕地で見られるが数は少ない。渡りの途中で羽を休める場所として加茂地域の農耕地は狭小なのであろう。ハチクマ、サシバ、ノスリ（図14）、ツミ、ハイタカなど猛禽類は主に秋の渡りの季節に見られる。

②特徴的な鳥類

加茂地域で記録した鳥類のうち特徴的な鳥類は表1のとおり23科44種で、概要は次のとおりである。

絶滅した鳥類にトキ（図15）がある。加茂地域では、1918年に現在の加茂郡七宗町神湊で採集された記録がある。

過去に確実な記録がある鳥類のうち、特徴的な鳥類はイヌワシ（1997.9.28美濃加茂市山之上町）、ヤマショウビン（図16 1977.8.28美濃加茂市加茂野町）、コノハズク（2000.5.4美濃加茂市三和町）、ヨシゴイ（2000.6.3美濃加茂市加茂野町）、アカガシラサギ（図17 2000.9.2美濃加茂市加茂野町）、ムラサキサギ（図18 2004.5.16美濃加茂市加茂野町）、カササギ（図19 2007.9.27美濃加茂市蜂屋町）などがある。これらは渡りをする途中の記録と思われる。

また、2015～2018年度の現地調査で記録した特徴的な鳥類の主なものは以下のとおりである。

水辺に生息するヒクイナは富加町、バンは美濃加茂市、川辺町に生息しているが、生息地は局地的で数は少ない。

ヤマセミ（図20）は2000年頃には美濃加茂市と坂祝町にも生息していたが、現地調査では川辺町、八百津町、白川町で観察できただけで、生息数は激減している。

カワガラス（図21）は富加町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村の広い地域に生息している。橋げたなどの人工物も利用して営巣し、生息数は増加傾向である。

オシドリ（図22）は、ほぼ全域で越冬している。河岸近くなど日陰に生息するため人目につきにくい、越冬する数は多い。

アオバトは、川辺町で繁殖期に15羽の群れを観察したが、営巣は確認していない。また、八百



図15 トキ(新潟県で撮影)
(撮影：梶浦敏一)

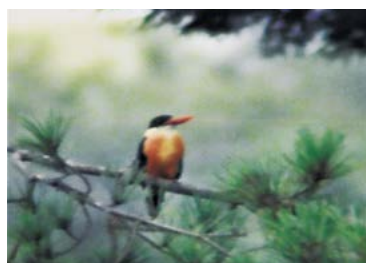


図16 ヤマショウビン
(撮影：森田善朗)



図17 アカガシラサギ



図18 ムラサキサギ
(撮影：河合和貴夫)

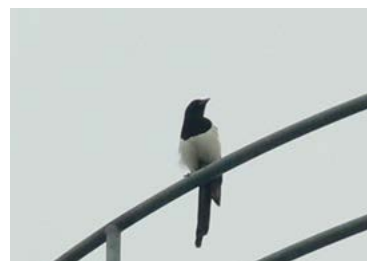


図19 カササギ
(撮影：小栗克彦)



図20 ヤマセミ



図21 カワガラス

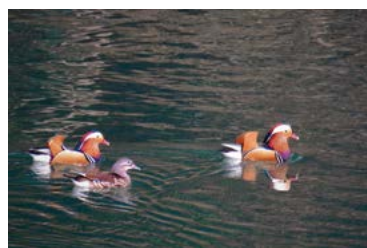


図22 オシドリ

2. 動植物

津町では鳴き声を複数回聞いた。

ミゾゴイは、繁殖期に七宗町、八百津町、東白川村に生息しているが、生息地は局地的で数は少ない。

トラツグミ（図23）は、美濃加茂市、富加町、八百津町、白川町で観察した。繁殖期の鳴き声で存在を知ることが多く、普通に生息している。

コサメビタキは、秋の渡りの季節に美濃加茂市で数羽を観察したが、繁殖期の生息は確認できなかった。生息数は減少している。

猛禽類のうち、クマタカ（図24）は八百津町、白川町、東白川村に生息している。白川町と東白川村に連なる山林地帯で幼鳥1羽を観察したことは貴重な繁殖記録である。

過去数回しか記録がないオオコノハズクは、美濃加茂市で衰弱した個体を保護した後死亡した1羽と、死んだ個体1羽を採集し、七宗町でも死んだ1羽を確認した。短期間の現地調査中に3例を記録したことは珍しい。

ハヤブサ（図25）は、美濃加茂市太田町のNTT美濃加茂の鉄塔で繁殖した記録が数回ある。その後、鉄塔の最上段に止まる姿をたびたび観察したが、近年は姿を見なくなった。

ササゴイ（図26）は、過去の記録では美濃加茂市太田町周辺の公園の樹木や、寺院のイチョウの大木などに集団で営巣するコロニーを形成していた。近年は少数が美濃加茂市、川辺町で繁殖している。

ほぼ全域で繁殖を確認したコシアカツバメ（図27）は、学校などのコンクリート製の建物の軒下で営巣する。過去には、秋の渡りの季節になると美濃加茂市太田町の通称OS通りの電線に数千羽が集合してねぐらを形成していた記録がある。

近年は、コシアカツバメに代わってツバメの大集合を観察している。ツバメは毎年7月から9月にかけて日没時間が近づくと数千羽が通称美濃太田駅前通りに大集合し大きなねぐら（図28）を形成する。幾重にも張られた電線に、等間隔でずらりと並ぶ姿は圧巻である。ただ、夜間でも明るく自動車の往来がある市街地でねぐらを形成する理由は不明である。

美濃加茂市中山道会館のヤドリギの実を求めて飛来するキレンジャク（図29）とヒレンジャク（図30）は、美濃加茂市の冬から春の風物詩である。数百羽が飛来する年もあれば、全く飛来しない



図23 トラツグミ



図24 クマタカ



図25 ハヤブサ



図26 ササゴイ



図27 コシアカツバメ



図28 ツバメのねぐら

年もある。

七宗町川並野々古屋の白山神社に、岐阜県が昭和15年に建立した「天然記念物久田見の佛法僧渡来地」と刻銘された記念碑がある。冊子の七宗町石造文化財には、毎年3羽ぐらい5月から

9月頃まで棲息していたが、近年になって姿を見せなくなったとの記述がある。ブッポウソウが飛来していた貴重な記録である。



図29 キレンジャク
(撮影：梶浦敬一)



図30 ヒレンジャク

表1 特徴的な鳥類

科 名	種 名	種 数
キジ科	ヤマドリ	1
カモ科	マガン, オシドリ	2
カイツブリ科	カイツブリ	1
ハト科	アオバト	1
サギ科	ヨシゴイ, ミゾゴイ, アカガシラサギ, ムラサキサギ, チュウサギ, ササゴイ	6
トキ科	トキ	1
クイナ科	ヒクイナ, バン	2
ヨタカ科	ヨタカ	1
チドリ科	ケリ	1
タマシギ科	タマシギ	1
ミサゴ科	ミサゴ	1
タカ科	ハチクマ, ツミ, ハイタカ, オオタカ, サシバ, イヌワシ, クマタカ	7
フクロウ科	オオコノハズク, コノハズク, フクロウ, アオバズク	4
カワセミ科	アカショウビン, ヤマショウビン, ヤマセミ	3
ハヤブサ科	ハヤブサ	1
サンショウクイ科	サンショウクイ	1
カササギヒタキ科	サンコウチョウ	1
カラス科	カササギ	1
ツバメ科	ツバメ, コシアカツバメ	2
セッカ科	セッカ	1
レンジャク科	キレンジャク, ヒレンジャク	2
カワガラス科	カワガラス	1
ヒタキ科	トラツグミ, コサメビタキ	2
23 科		44 種

2. 動植物

生物種目録 鳥類

鳥類 (1/3)

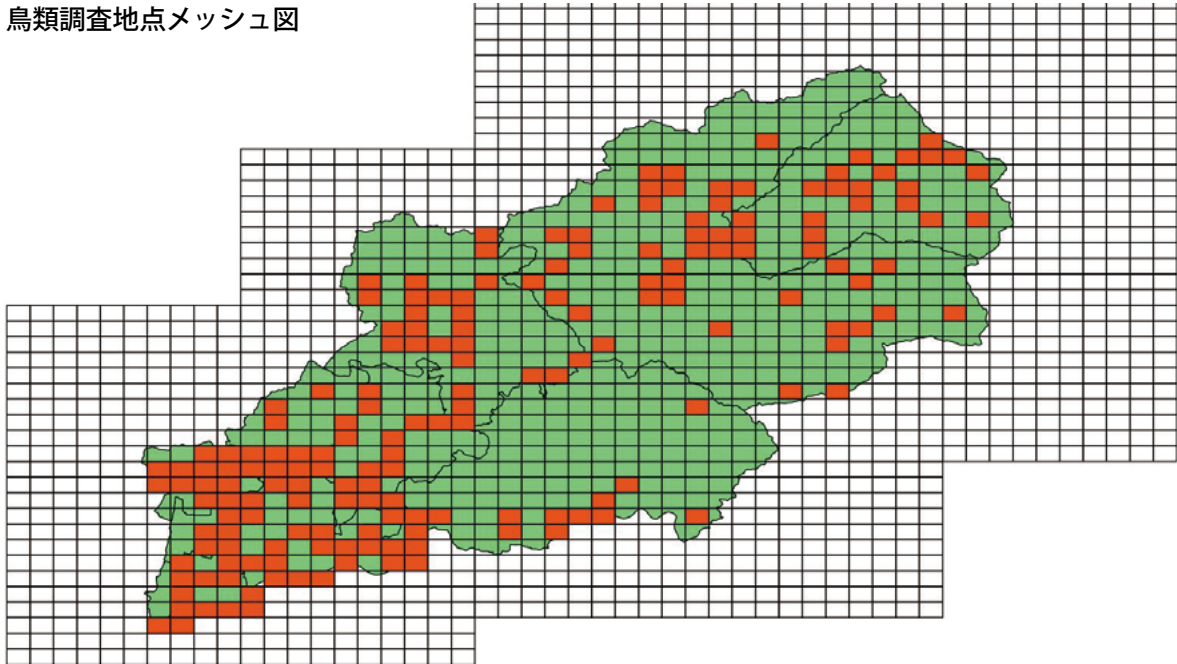
目 名	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
キジ目	キジ科	ウズラ								○		0
		ヤマドリ		●	●	●			○	●	○	8
		キジ		●	●	●	●	●	●	●	●	17
		コジュケイ	※	●			●	●	●	●	●	24
カモ目	カモ科	マガン		○			●					1
		コハクチョウ		○								0
		オシドリ		●	●	●	●	●	●	●		29
		オカヨシガモ		●								2
		ヨシガモ		○								0
		ヒドリガモ		●	●		●					9
		アメリカヒドリ		○								0
		マガモ		●	●	●	●	●	●	●		21
		カルガモ		●	●	●	●	●	●	●	●	46
		ハシビロガモ		●								1
		オナガガモ		●		●						2
		シマアジ		○								0
		トモエガモ		○								0
		コガモ		●	○	●	●		●	●		10
		ホシハジロ		●	●		●		●			11
		キンクロハジロ		●	●	●	●		●			19
		スズガモ		○								0
		ホオジロガモ		●		●						2
		ミコアイサ		●								1
		カワアイサ		●	●	●		●	●	●	●	23
		ウミアイサ		○								0
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ		●	●	○	●	●	●	●		22
		カンムリカイツブリ		●	●		●		●			9
		ハジロカイツブリ		●								2
ハト目	ハト科	キジバト		●	●	●	●	●	●	●	●	68
		アオバト		○	○		●		●	○	○	5
		カワラバト (ドバト)	※	○	○	○	○	○	○	○	○	0
		オオミズナギドリ		○								0
カッオドリ目	ウ科	カワウ		●	●	●	●	●	●	●	●	37
ペリカン目	サギ科	ヨシゴイ		○								0
		ミゾゴイ						●	○		○	1
		ゴイサギ		○	○		●		●	○		3
		ササゴイ		●	○		●		○			3
		アカガシラサギ		○								0
		アマサギ		○	○				○			0
		アオサギ		●	●	●	●	●	●	●	●	52
		ムラサキシサギ		○								0
		ダイサギ		●	●	●	●	●	●	●		41
		チュウサギ		●	●	●	●		○		○	8
		コサギ		●	○		●		○	○	○	5
	トキ科	トキ						○				0
ツル目	クイナ科	クイナ		○								0
		ヒクイナ		○		●						1
		バン		●	○		●					4
		オオバン		●			●	●				12
カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ		○	○				○	○		0
		ホトトギス		○	○			●	○	●	●	10
		ツツドリ		●	○			●	○	●	○	6
		カッコウ		○	○				○	○	○	0
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ		○	○			●	○	●	●	5
アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ		●	○						●	2
		アマツバメ		●	○	○			○	○	●	6
		ヒメアマツバメ		○								0
チドリ目	チドリ科	タゲリ		●	●	●						4
		ケリ		●	●	●	●		●			18
		ムナグロ		○	○							0
		ダイゼン		○								0
		イカルチドリ		○	○	●			○	●		3
		コチドリ		●	○	●			○			2
	シギ科	ヤマシギ		○						○	○	0
		タシギ		●	○				○	○	○	1
		チュウシャクシギ		○								0
		ツルシギ		○								0
		コアオアシシギ		○								0
		アオアシシギ		○								0
		クサシギ		●	○							3
		タカブシギ		○								0
		キアシシギ		○	○				○			0
		イソシギ		●	○		●		●			5
		トウネン		○								0
		ヒバリシギ		○								0
		アカエリヒレアシシギ		○	○							0
	タマシギ科	タマシギ		●	○				●			2
	カモメ科	ユリカモメ		●	○							1
		ウミネコ		●	○		●					2
		カモメ		○								0

目名	科名	種名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
チドリ目	カモメ科	セグロカモメ		○								0
		コアシサシ		○	○							0
		アジサシ		○								0
タカ目	ミサゴ科	ミサゴ		●	●				○	●	●	6
	タカ科	ハチクマ		●	○	○	●	●	●	●	●	13
		トビ		●	●	●	●	●	●	●	●	77
		オジロワシ							○			0
		オオワシ		○								0
		ハイロチュウヒ		○								0
		ツミ		●	○		●	○	○	●	●	8
		ハイタカ		●	○	●		○	●	○	●	4
		オオタカ		●	●	●	●	●	●	●	●	24
		サシバ		●	○	○	●		○	○	●	5
		ノスリ		●	●	●	●	●	●	●	●	32
		ケアシノスリ		○								0
		イヌワシ		○					○			0
		クマタカ							●	●	●	8
フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク		●	○	○		●	○	○	○	3
		コノハズク		○						○	○	0
		フクロウ		○	○		○		○	●	○	1
		アオバズク		○	○		●	○	●	○	○	3
ブッポウソウ目	カワセミ科	アカショウビン		○					○	●		1
		ヤマショウビン		○							○	0
		カワセミ		●	●	●	●	●	●	●	●	32
		ヤマセミ		○	○		●		●	●		5
	ブッポウソウ科	ブッポウソウ							○			0
キツツキ目	キツツキ科	アリスイ		○	○							0
		コゲラ		●	●	●	●	●	●	●	○	32
		アカゲラ		●	●	●	●	●	●	●	●	21
		アオゲラ		●	●		●	●	●	●	●	19
ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ		●	○	●			●	○		7
		チゴハヤブサ		○								0
		ハヤブサ		●	○		●		○	○	○	4
スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ		●	○	○	●	●	●	○		8
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ		○	○				○	●	●	2
	モズ科	チゴモズ							○			0
		モズ		●	●	●	●	●	●	●	●	52
		アカモズ		○					○	○	○	0
	カラス科	カケス		●	○	●	●	●	●	●	●	41
		オナガ		○								0
		カササギ		○								0
		コクマルガラス		○								0
		ハシボソガラス		●	●	●	●	●	●	●	●	58
		ハシブトガラス		●	●	●	●	●	●	●	●	93
		キクイタダキ							○	○	○	0
	シジュウカラ科	コガラ		○					○	○		0
		ヤマガラ		●	●	●	●	●	●	●	○	34
		ヒガラ		●	○		●	●	●	●		6
		シジュウカラ		●	●	●	●	●	●	●	●	56
	チメドリ科	ソウシチョウ	※	●					○			4
	ヒバリ科	ヒバリ		●	●	●	●		●	●	○	13
	ツバメ科	ショウドウツバメ		●	○						●	2
		ツバメ		●	●	●	●	●	●	●	●	49
		コシアカツバメ		●	●	●	●	●	●	●	●	14
		イワツバメ		●	●		●	●	●	●	●	15
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ		●	●	●	●	●	●	●	●	110
	ウグイス科	ウグイス		●	●	●	●	●	●	●	●	63
		ヤブサメ			○				○	●		2
	エナガ科	エナガ		●	●	●	●	●	●	●	●	33
	ムシクイ科	オオムシクイ		○								0
		メボソムシクイ		○					○			0
		エゾムシクイ			○				○	○		0
		センダイムシクイ		○	○				○	○		0
	メジロ科	メジロ		●	●	●	●	●	●	●	●	59
	ヨシキリ科	オオヨシキリ		●	○				●			3
		コヨシキリ		○								0
	セッカ科	セッカ		●	○	●	●		●			4
	レンジャク科	キレンジャク		●	○				○	○		1
		ヒレンジャク		●	○				○	○		1
	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ							○	○	○	0
	キバシリ科	キバシリ		○					○			0
	ミソサザイ科	ミソサザイ		●	●				●	●	○	9
	ムクドリ科	ムクドリ		●	●		●		●	○	○	15
		コムクドリ		○	○				○			0
	カワガラス科	カワガラス		○	○	●		●	●	●	●	27
	ヒタキ科	マミジロ							○			0
		トラツグミ		○	○	●			●	●	○	6
		クロツグミ						●	●	○	○	2
		マミチャジナイ							○			0
		シロハラ		●	●	●	●		●	●	●	25
		アカハラ		○	○		●		●	●	○	5

目 名	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数		
スズメ目	ヒタキ科	ツグミ		●	●	●	●	●	●	●	●	39		
		コマドリ					●			○		1		
		ノゴマ		○						○		0		
		コルリ								○		0		
		ルリビタキ		●	●	●		●	●	●	●	21		
		ジョウビタキ		●	●	●	●	●	●	●	●	57		
		ノビタキ		●	●		●	●	●	●	●	9		
		イソヒヨドリ		●	○		●			○	●	6		
		エゾビタキ		●	○							1		
		サメビタキ		○	○							0		
		コサメビタキ		●					○			1		
		キビタキ		●	●		●	●	●	●	●	21		
		ムギマキ								○		0		
		オオルリ		●	○		●	●	●	●	●	22		
	イワヒバリ科	イワヒバリ								○	○	0		
		カヤクグリ			○					○	○	0		
	スズメ科	ニュウナイスズメ		○	○					○		0		
		スズメ		●	●	●	●	●	●	●	●	47		
	セキレイ科	キセキレイ		●	○	●	●	●	●	●	●	44		
		ハクセキレイ		●	●	●	●	●	●	●	●	33		
		セグロセキレイ		●	●	●	●	●	●	●	●	52		
		ビンズイ		●	○				●	○		3		
		タヒバリ		●	○				●			4		
	アトリ科	アトリ		●	○					●	●		3	
		カワラヒワ		●	○	●	●	●	●	●	●	●	39	
		マヒワ			○	●				●	●	●	4	
		ハギマシコ		○									0	
		ベニマシコ		●	●	●		●	●	○	●		18	
		オオマシコ									○		0	
		イスカ							○	○	○	○	0	
		ウソ		●	○			●	○	○	●	○	4	
		シメ		●	○	●	●		●	○	○	○	10	
		コイカル		○	○								0	
		イカル		●	●	●	●	●	●	●	●	●	36	
		ホオジロ科	ホオジロ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	78
			ホオアカ								○			0
			カシラダカ		●	○	●		●	●	●	●	●	23
	ミヤマホオジロ			●	○	●				○	○		6	
	アオジ			●	○	●	●	●	●	●	●	○	15	
	クロジ									○	○	○	0	
	オオジュリン			●	○								2	
確認種数		202	3	178	126	68	76	64	132	113	88			

●は加茂地区生物基礎調査にデータあり
○は調査者の個人データ、文献、標本のみによるもの
メッシュ数は加茂地区生物基礎調査にメッシュ No. があるもののみ計数

鳥類調査地点メッシュ図



執筆：荒井 浩

(4) 爬虫類

①爬虫類相

加茂地域の爬虫類は外来種を含めると16種が確認されている。その中で確実に在来と考えられる爬虫類は12種であり、本州に分布する在来爬虫類のうち、伊豆半島周辺のオカダトカゲと滋賀県以西に分布するニホントカゲを除く全てが確認されている。

これらの爬虫類のうち、在来のカメ類はニホンイシガメとニホンスッポン（図1）が確認されている。ニホンイシガメは美濃加茂市、富加町、白川町で確認されているが、今回の調査記録には含まれていない町村にも広く分布すると考えられる。ニホンスッポンは流れの緩やかな砂泥底の河川を好み、美濃加茂市や坂祝町といった美濃加茂盆地で確認されている。クサガメは江戸時代以降に日本に持ち込まれた可能性が高いとされており（関，2018）、加茂農林高校の池など美濃加茂市内で目視確認されている。外来のカメ類はミシシippアカミミガメとヨツユビリクガメが確認されている。ミシシippアカミミガメは美濃加茂市と富加町での分布が確認されており、ヨツユビリクガメは1個体のみが白川町で発見されている（IV、外来種参照）。

トカゲ類はヒガシニホントカゲとニホンカナヘビ（図2）、ニホンヤモリが確認されている。ヒガシニホントカゲは2012年に新種記載された種で、本州に広く分布すると考えられてきたニホントカゲから分けられたものである（Okamoto and Hikida, 2012）。ヒガシニホントカゲとニホントカゲは形態的に酷似しており、頭部の前額板が接していないのがヒガシニホントカゲ、明瞭に接しているのがニホントカゲとされている。分布の境界は滋賀県の湖東地方にあり、岐阜県内に分布するものはヒガシニホントカゲとされている。ニホンカナヘビは北海道から九州に広く分布しており、加茂地域でも普通に見られる。ヒガシニホントカゲは体表に光沢があり、幼体は尾が鮮やかな青色をしているのに対し、ニホンカナヘビは光沢が無く、幼体も成体も体から尾まで褐色をしている。ニホンカナヘビは民家周辺の草むらなどで見かけることが多い。ニホンヤモリは16世紀頃に中国から来た外来種と考えられている（関，2018）。

本州の爬虫類の中ではヘビ類の種数が比較的多く、8種が知られているが、そのすべてが加茂地域で確認されている。シマヘビ（図3、4）、アオダイショウ（図5）、ヤマカガシ（図6）は比較的大型になり、民家や水田周辺に多い。また昼間も活動することが多いので人目



図1 ニホンスッポンの子供（坂祝町産）



図2 ニホンカナヘビ（美濃加茂市）
民家の周辺でよく見られる。



図3 シマヘビ成体（美濃加茂市）
水田地帯でよく見られる。

2. 動植物

につきやすい。ジムグリ、ヒバカリ、シロマダラは夜間に活動することが多く、山際に多いために人目につきにくい種である。タカチホヘビは山際の落ち葉の下など地表付近に潜ってミミズを食べるとされている。ニホンマムシ（図7）は毒蛇として有名である。ニホンマムシの個体数は少ないと考えられるが、人が近づいてもじっとしていることが多く、慣れないと見つけにくい。



図4 シマヘビ幼体(美濃加茂市)
成体とは模様が大きく異なっている。



図5 アオダイショウ(美濃加茂市)



図6 ヤマカガシ(美濃加茂市)
川沿いや水田周辺に多い。



図7 ニホンマムシ(美濃加茂市産)

②特徴的な爬虫類

加茂地域は山地や水田が多く、さまざまな爬虫類の生息に適した環境が残されている。特にヘビは本州に生息する8種全てが生息している。ヘビは一般市民には嫌われがちだが、動物食専門に特殊化した食物連鎖の上位の種であり、さまざまな小動物が豊富に生息する環境でなければ多くの種が生息することができない。また、捕食者として多様な自然を必要とするだけでなく、ヘビの個体数が多ければ猛禽類などの餌となって大型動物の生息を支える面もある。この地域に種数および個体数として多くのヘビが生息することで、実在の是非はともかくとして、東白川村におけるツチノコを目撃談の元となり、そこから派生したツチノコ探しが村のイベントとして全国的に有名になっている。加茂地域におけるヘビ類の調査は十分ではないが、自然環境の豊かさをあらわす動物であることを広く知ってもらいたい動物である。

爬虫類 (1/1)

目 名	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数
カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ		●		●				○		7
		クサガメ	△	○								0
	スッポン科	ニホンスッポン		●	●							3
	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	※	●		●						5
	リクガメ科	ヨツユビリクガメ	※							●		1
有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	△		○	○						0
	カナヘビ科	ニホンカナヘビ		●		●		●	●			4
		ヒガシニホントカゲ					●	●				2
	クサリヘビ科	ニホンマムシ		●		●	●	●	●			5
	タカチホヘビ科	タカチホヘビ							●		●	2
	ナミヘビ科	アオダイショウ		●			●					2
		シマヘビ		●							●	3
		ジムゲリ		●					●			2
		シロマダラ							●			1
		ヒバカリ		●			●	●	●			4
		ヤマカガシ		●	○		●	●	●	●		3
確認種数		16	4	11	3	5	5	5	7	2	2	

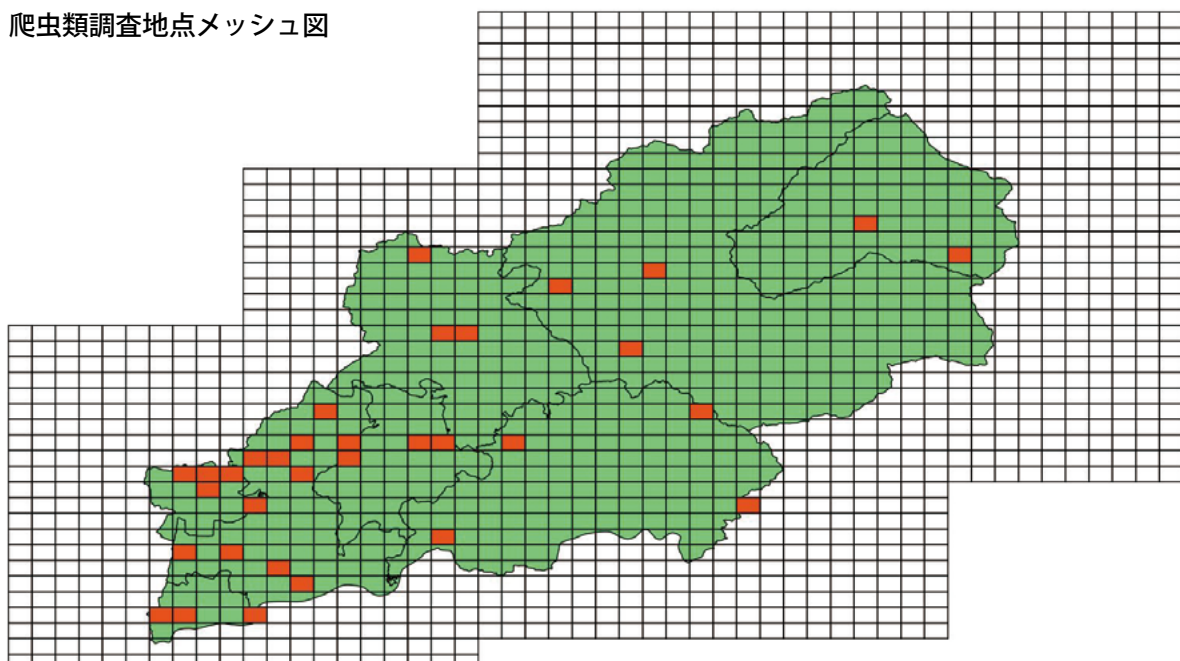
●は加茂地区生物基礎調査にデータあり

○は調査者の個人データ、文献、標本のみによるもの

メッシュ数は加茂地区生物基礎調査データ（2018年8月入力分まで）にメッシュ No. が記載されているもののみ計数

外来種欄の△は外来種の疑いがあるもの

爬虫類調査地点メッシュ図



引用文献

Okamoto, T. and T. Hikida (2012) A new cryptic species allied to *Plestiodon japonicus* (Peters, 1864) (Squamata: Scincidae) from eastern Japan, and diagnoses of the new species and two parapatric congeners based on morphology and DNA barcode. Zootaxa (3436): 1-23.

関 慎太郎（2018）野外観察のための日本産爬虫類図鑑 第2版. 緑書房.

執筆：高木雅紀・向井貴彦

(5) 両生類

①両生類相

加茂地域の両生類は有尾目5種と無尾目14種が確認されている。そのうち外来種はウシガエル1種のみであり、他は全て在来種である。

有尾目はイモリやサンショウウオの仲間であり、いずれの種も豊かな自然環境を必要とするため、5種全てが加茂地域の貴重な動植物種に選定されている。サンショウウオ科のコガタブチサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、ヒダサンショウウオはいずれも溪流やその周辺に生息し、伏流水の豊富な山林を必要としている。コガタブチサンショウウオは溪流付近の斜面の土中に生息しており、産卵も地下で行う。ハコネサンショウウオは最も上流に生息し、加茂地域では発見例が少ない。加茂地域の山間地ではヒダサンショウウオが比較的身近なサンショウウオであり、集落を流れる小さな沢などに幼生がいることもある（図1）。オオサンショウウオ科のオオサンショウウオは特別天然記念物として保護されており、東白川村や白川町を流れる白川や美濃加茂市付近の木曽川やその支流でよく見られる。山地から平地にかけての里山的な環境の溜池や小川にはイモリ科のアカハライモリが生息している。

無尾目はカエルの仲間であり、在来種は13種が確認されている。加茂地域は山地性のカエルと平野のカエルの双方が分布するため、種数が多く、県内に分布するカエル類のほとんどが記録されている。美濃加茂盆地



図1 ヒダサンショウウオの幼生
(東白川村産)

地には平野に生息するナゴヤダルマガエルやヌマガエル（図2）が見られる。山間の溪流にはナガレヒキガエルが生息している。現在のところ未確認だが、ナガレタゴガエルも生息する可能性がある。他の多くのカエル類は山地から中山間地に生息する種だが、ニホンアカガエルは中山間地の里山環境に依存し、生息地が非常に少ない（Ⅲ．貴重な動植物種参照）。また、ナゴヤダルマガエルは平野部の長年続けて稲作が行われている水田に依存しているために美濃加茂盆地にしか見られないが、類似したトノサマガエル（図3）は加茂地域の全市町村で分布が確認されている。在来種のカエルで比較的好く見られるのは、上述のヌマガエル、トノサマガエルの他に水田地帯ではニホン



図2 ヌマガエル(美濃加茂市産)



図3 トノサマガエルのオス(上)
とメス(下)(美濃加茂市産)
繁殖期にはオスは黄色の婚姻色を呈する。

アマガエル（図4）やシュレーゲルアオガエル（図5）が多く生息している。ニホンアマガエルは民家の庭先にも多いためによく知られているが、シュレーゲルアオガエルは水田や水路の土中やコンクリートの隙間に隠れているため、姿を見ることは比較的少ない。山間地の水田や溪流にはツチガエル（図6）やヤマアカガエル（図7）、タゴガエル、カジカガエルが生息している。ヤマアカガエルは2月から3月の雪の残る時期に山間の湿地などで産卵する。カジカガエルは溪流に生息し、夏は涼しげな鳴き声を響かせることで知られている。

外来種のウシガエルは美濃加茂盆地の溜池や河川に広がっており、他のカエルや水生昆虫を捕食していると考えられる。



図4 ニホンアマガエル
(美濃加茂市産)



図5 シュレーゲルアオガエル(美濃加茂市産)
ニホンアマガエルより大きく成長する。



図6 ツチガエル(美濃加茂市産)
体表にいぼ状の突起が発達する。



図7 ヤマアカガエル(美濃加茂市産)
山間部の河川や湿地に多い。

②特徴的な両生類

加茂地域は山地や水田が多く、さまざまな両生類が生息しているが、オオサンショウウオが多く生息することや、山間地の集落でヒダサンショウウオが見られることは特徴的であり、豊かな自然環境が残されていることを表している。カエル類もヤマアカガエルやタゴガエル、ヒキガエル類などは山林や溪流沿いに広く分布している。こうしたカエル類は成体の生息する陸上の環境と産卵のための水辺が無ければ生息できないため、加茂地域の多くを占める山地及び中山間地にそれらの環境が維持されていることを示している。

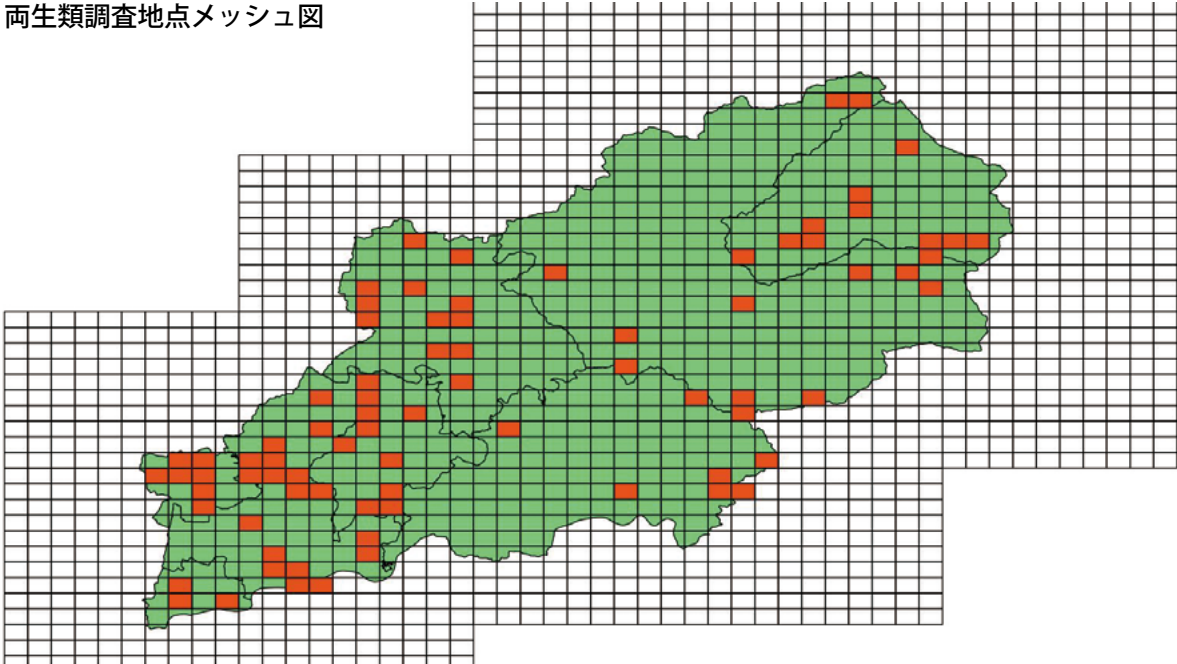
生物種目録 両生類

両生類 (1/1)

目 名	科 名	種 名	外来種	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	メッシュ数	
有尾目	サンショウウオ科	コガタブチサンショウウオ								●		1	
		ハコネサンショウウオ								●		1	
		ヒダサンショウウオ					●			●	●	5	
	オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ		●			●				●	10	
	イモリ科	アカハライモリ		●		●		●	●	●		11	
無尾目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル		●				●		●		6	
		ナガレヒキガエル						●					1
	アマガエル科	ニホンアマガエル		●		●	●		●	●		12	
	アカガエル科	タゴガエル		●			●	●	●	●			8
		ニホンアカガエル				●							1
		ヤマアカガエル		●				●	●	●	●		14
		ウシガエル	※	●	●	●	●						16
		ツチガエル		●		●		●			●	●	9
		ナゴヤダルマガエル		●		●	●		●				2
		トノサマガエル		●	●	●	●	●	●	●	●		23
	ヌマガエル科	ヌマガエル		●	●	●	●		●			10	
	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル		●		●	●	●	●	●	●		6
		モリアオガエル		●		●					○		4
		カジカガエル				●		●					3
確認種数			19	1	13	3	11	8	10	8	12	5	

●は加茂地区生物基礎調査にデータあり
○は調査者の個人データ、文献、標本のみによるもの
メッシュ数は加茂地区生物基礎調査データ（2018年8月入力分まで）にメッシュNo.が記載されているもののみ計数

両生類調査地点メッシュ図



執筆：高木雅紀・向井貴彦